

# LIXIL SA(F) ミニ・レギュラー 基本・縦連棟・M合掌・Y合掌 取付説明書

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
  - ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

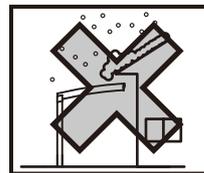
- ▲ 注意**
  - ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
- お願い**
  - ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
  - ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※**
  - ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
  - ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
- 補足**
  - ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## <施工の前に>

### ▲ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・積雪（新雪）20cm（600N/m<sup>2</sup>）を超えない地域に設置してください。
- ・建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
- ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認をしてから施工を行なってください。



### お願い

- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離<sup>はくり</sup>のおそれがあります。
- ・施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。

## <基礎工事について>

### ▲ 注意

- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

### お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

## <施工上のご注意>

### ▲ 注意

- ・「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなり、正しく注意を促すことができなくなります。縦樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- ・アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- ・製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締め付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
  - ※φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m（25±5kgf・cm）
  - ※φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m（30±5kgf・cm）
  - ※M8ボルト：20.0N・m±0.5N・m（200±5kgf・cm）

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

### お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ※作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
    - 特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

## <施工の後に>

### ▲ 注意

- ・ボルト、ネジを増し締めしてください。ただし、緩み止め付きボルトは、硬化前に増し締めしてください。

### お願い

- ・取扱説明書は施主様にお渡しください。

# INDEX

■ 梱包明細表	4	■ 縦連棟の施工方法	17
■ 各部の名称	6	■ 縦連棟 (L22・L29) の確認事項	17
■ 基本タイプの施工	7	■ 縦連棟 (L50) の確認事項	19
■ 基本の確認事項	7	■ 14延長の確認事項	20
1 基礎寸法の確認	8	1 部材の加工	21
2 柱の建て込み準備	9	2 部材の取付け	22
3 柱、梁の組立て	9	■ M合掌タイプの施工方法	23
4 部材の加工	11	■ 姿図	23
5 母屋・後枠の取付け	12	■ 基礎位置の墨出し	23
6 前枠の取付け	12	1 M合掌梁連結金具の組立て	24
7 側枠の取付け	13	2 合掌棟木の取付け	25
8 垂木の取付け	14	3 M合掌端部キャップの取付け	25
9 屋根材の取付け	15	■ Y合掌タイプの施工方法	26
10 側枠カバー・垂木カバーの取付け	15	■ 姿図	26
11 竪樋の取付け	16	■ 基礎位置の墨出し	26
		1 Y合掌用柱連結金具の取付け	27
		2 合掌棟木の取付け	28
		3 Y合掌端部キャップの取付け	28

## 表示マーク



独立基礎で  
施工の場合



土間コンクリートで  
施工の場合



柱位置を移動して  
施工する場合



M合掌を施工の場合



Y合掌を施工の場合

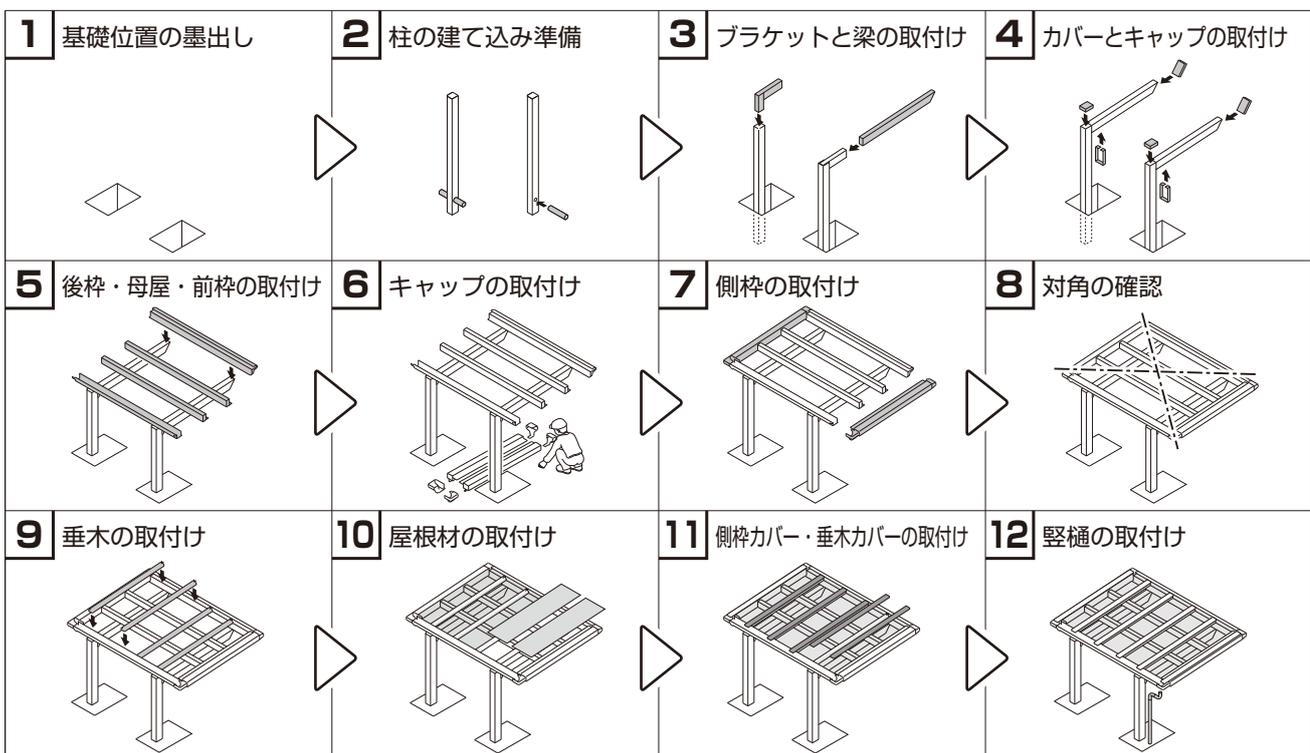


「14延長」または  
「縦連棟」を施工する場合



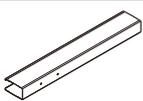
シーリング箇所

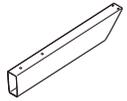
## 施工の流れ

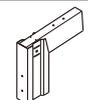


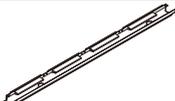
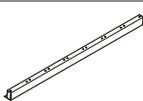
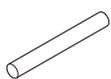
# 梱包明細表

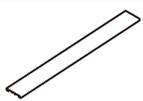
※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

【1】柱セット		員数	
名称	略図	1本入	2本入
柱		1	2

【2】梁セット		員数	
名称	略図	1本入	2本入
梁		1	2

【3】ブラケットセット		員数	
名称	略図	1本入	2本入
ブラケット		1	2

【4】長さセット		員数				
名称	略図	W21	W24・27		W30	
			L14	L50	L14	L50
後枠		1	1	1	1	1
前枠		1	1	1	1	1
母屋		2	3	3	4	4
縦樋φ40×L3500		-	-	1	-	1

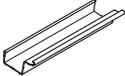
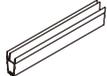
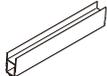
【5】幅セット (垂木)		員数		
名称	略図	2本入	3本入	6本入
垂木		2	3	6
垂木カバー		2	3	6
側枠		2	2	2
側枠カバー		2	2	2

【6】屋根材セット		員数	
名称	略図	3枚入	4枚入
屋根材		3	4

【7】部品セット		員数				
名称	略図	W21	W24・27		W30	
			L14	L50	L14	L50
ドレンエルボ		1	1	1	1	1
92° エルボ (φ40)		2	2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3	3
雨樋アタッチメント		1	1	1	1	1
雨樋パッキン		2	2	2	2	2
雨樋穴塞ぎキャップ		1	1	1	1	1
パネル緩衝材		8	8	24	8	32
後枠コーナーキャップ [部品番号] L: 628740A R: 628741A		左右各1	-	左右各1	-	左右各1
接着剤		1	1	1	1	1
前枠コーナーキャップ [部品番号] L: 628738A R: 628739A		左右各1	-	左右各1	-	左右各1
柱キャップ		2	1	2	1	2
柱梁カバー		2	1	2	1	2
母屋キャップ [部品番号] L: 628728 R: 628729		左右各2	-	左右各3	-	左右各4
梁キャップ		2	1	2	1	2
φ8×200アンカー棒		2	1	2	1	2
穴隠しシールφ10		16	10	20	12	24
【7-1】 M8×20六角ボルトPW (緩み止め付)		14	7	14	7	14
【7-2】 φ4×13ナベドリルネジ		3	3	3	3	3
【7-3】 φ5×12トラスタッピン ネジ3種		103	57	182	68	218
取扱説明書 <UD125>	-	1	-	1	-	1
取付説明書 <D652>	-	1	-	1	-	1

【8】 堅樫セット (オプション)		員数
名称	略図	L=3100
堅樫 φ40		1

【12】 MY合掌棟木セット		員数
名称	略図	
MY合掌棟木		1

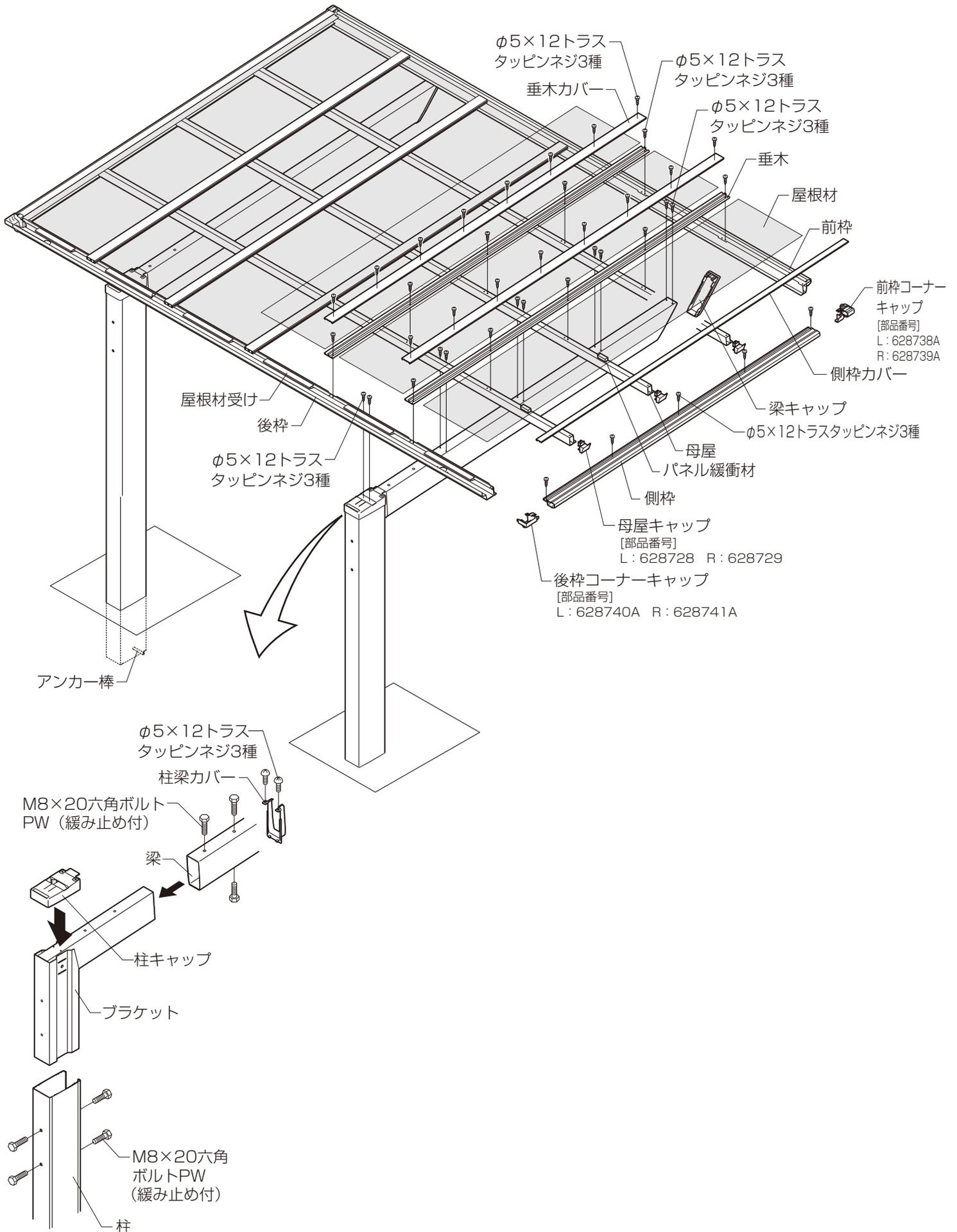
【9】 連棟部材セット (オプション)		員数		
名称	略図	W21	W24・27	W30
後枠スリーブ		1	1	1
前枠スリーブ		1	1	1
母屋スリーブ		2	3	4
【9-1】 φ4×13ナベドリルネジ		35	44	52

【13】 Y合掌部品セット		員数
名称	略図	
Y合掌用柱連結金具		2
Y合掌固定金具F用		4
Y合掌端部キャップF用		2
【13-1】 φ4×13ナベドリルネジ		4
【13-2】 φ4×20トラスタッピンネジ3種		4

【10】 連棟幅セット (垂木) (オプション)		員数			
名称	略図	2本入	3本入	4本入	7本入
垂木		2	3	4	7
垂木カバー		2	3	4	7

【11】 M合掌部品セット		員数
名称	略図	
M合掌金具スペーサー		8
M合掌固定金具 F用		4
M合掌端部キャップ F用		2
M合掌梁連結金具 F用		4
梁スペーサー		8
【11-1】 M8×85六角ボルト		8
【11-2】 M8用六角セルフロックナット		8
【11-3】 M8用平座金		16
【11-4】 φ4×13ナベドリルネジ		4
【11-5】 φ4×20トラスタッピン2種		4

# 各部の名称



# 基本タイプの施工

## 基本の確認事項

### □ 姿図

#### ▲ 注意



【柱移動】をした場合は  
柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

#### お願い

- ・ 構造計算書を添付して建築確認申請をおこなっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- ・ 柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。



【縦連棟】【M合掌】の基礎寸法、P.8および対応したページも併せて参照してください。

【Y合掌】の基礎寸法は対応したページを参照してください。

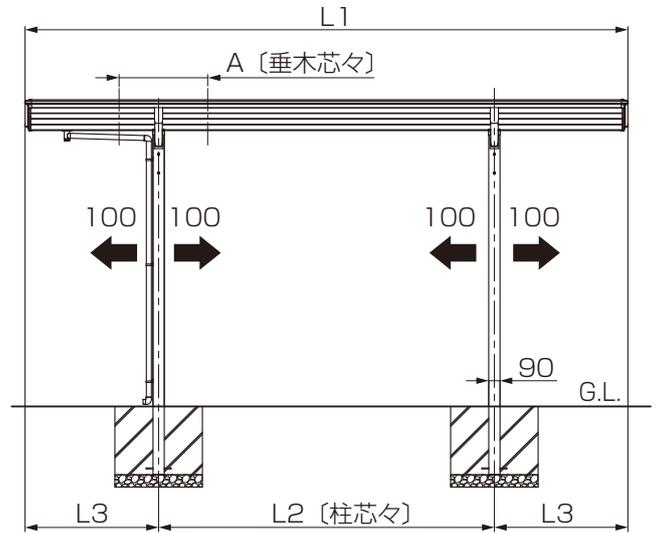
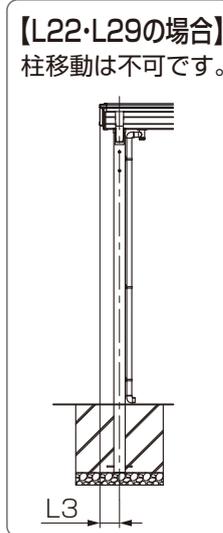
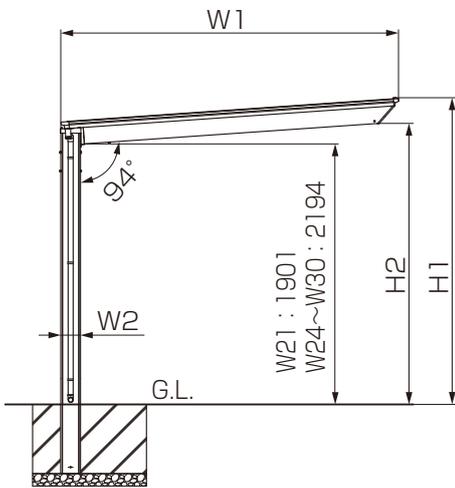
#### 補足

← 印は【柱移動】範囲を示します。

#### 【ロング柱の場合】

W21=H寸法に+608してください。

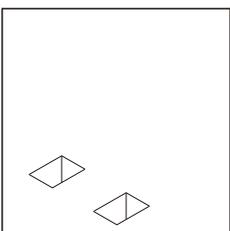
W24~W30=H寸法に+300してください。



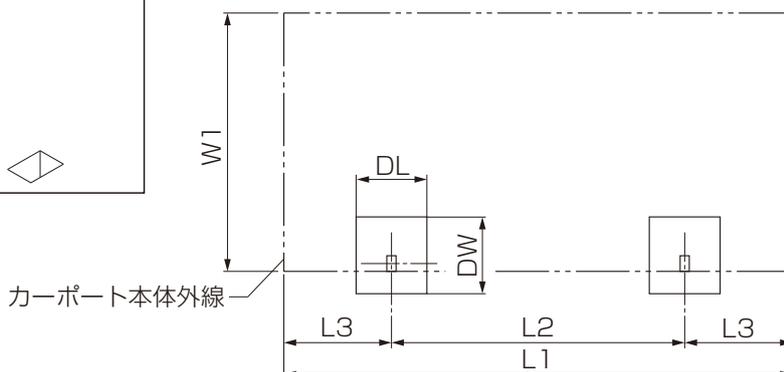
サイズ(間口)		W1	W2	H1	H2
ミニ	W21	2096	132	2210	2032
	W24	2393	158	2549	2343
レギュラー	W27	2692	158	2570	2364
	W30	2992	160	2591	2385

サイズ(奥行)		L1	L2	L3	A
ミニ	L22	2204	1894	155	706
	L29	2910	2600	155	706
レギュラー	L50	5028	2900	1064	706

### □ 基礎の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



P.8



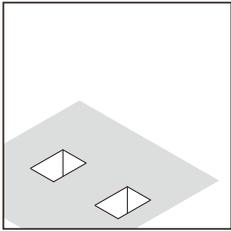
【基礎寸法数値について】

基礎寸法「DW」「DL」は「P.8」を参照してください。

# 1 基礎寸法の確認



【縦連棟】  
【M合掌】  
も本ページの基礎寸法を参照してください。

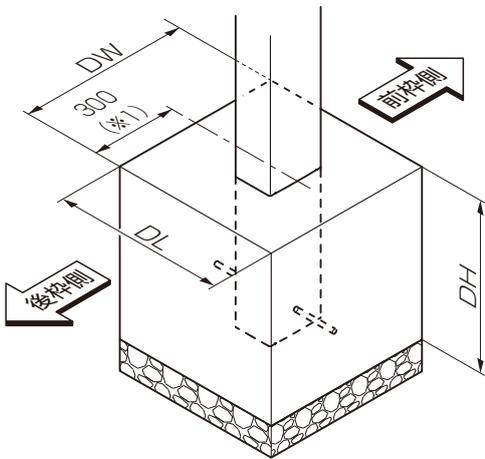


①基礎穴寸法を確認してください。

サイズ(間口)	独立基礎寸法			土間コンクリート寸法		
	DW	DL	DH	DW	DL	DH
W21	600	400	500	400	300	500
W24	700	600	550	350	300	550
W27	700	600	550	350	300	550
W30	800	700	550	370	370	550



【独立基礎仕上げ】の場合の作業です。

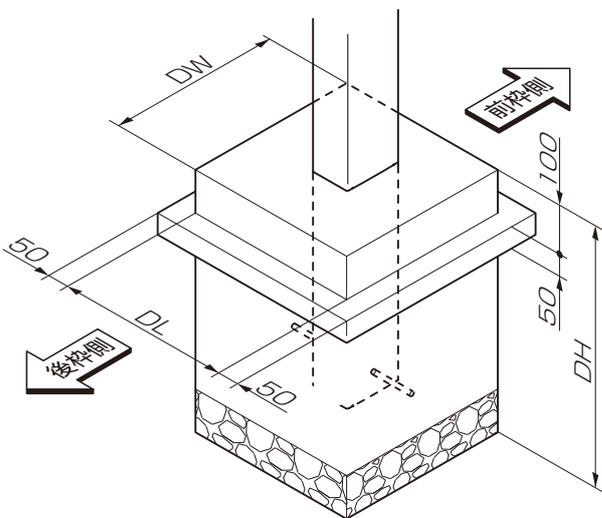


## 補足

(※1)は柱芯から柱背面側の基礎端面までの寸法です。

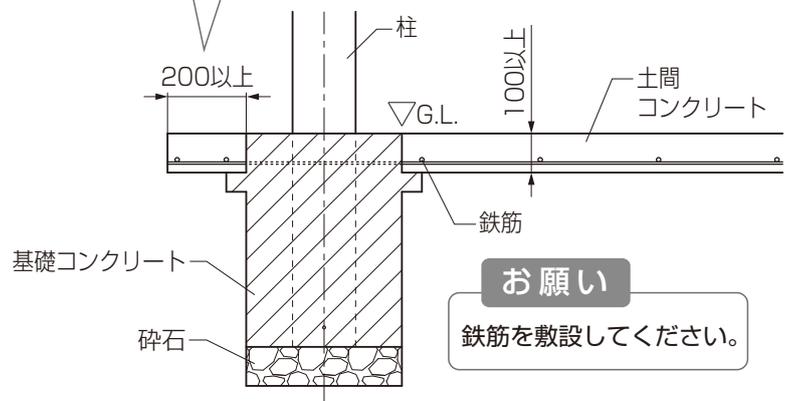


【土間コンクリート仕上げ基礎】の場合の作業です。



## お願い

基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。

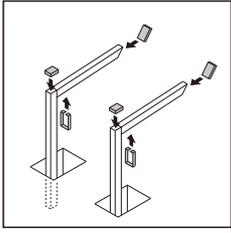


## お願い

鉄筋を敷設してください。



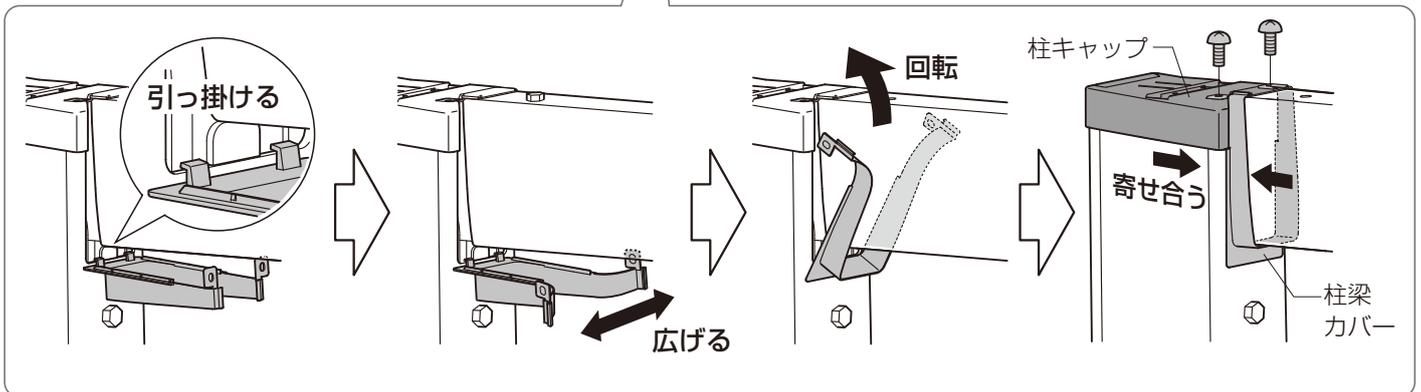
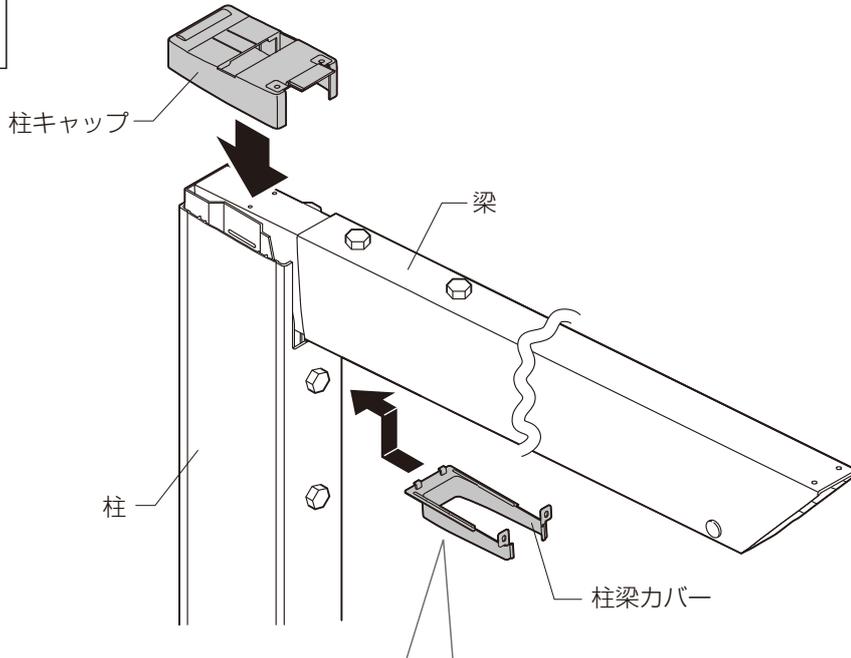
## 2 梁とキャップの取付け



- ① 柱キャップを柱にはめ込んでください。
- ② 柱梁カバーを柱の切欠き部にはめ込んでください。
- ③ 柱梁カバーを柱キャップに【7-3】で取付けてください。
- ④ 梁キャップにシーリングをし、梁にはめ込んでください。



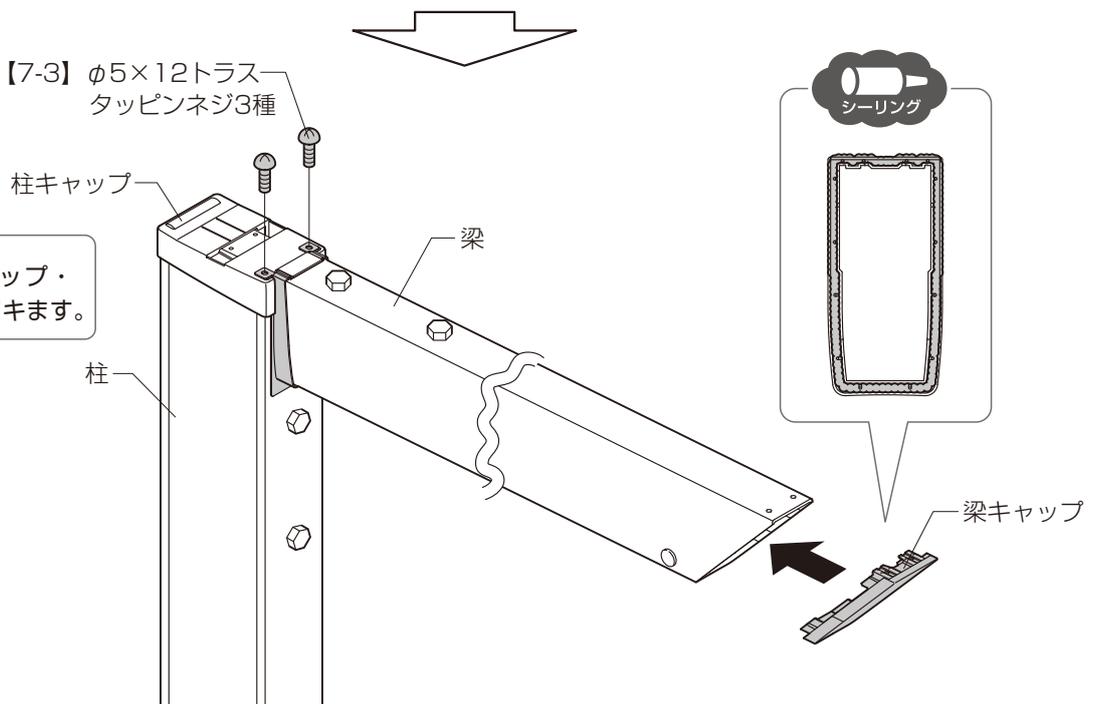
【M合掌】の場合は  
P.24も事前に  
確認してください。



【7-3】φ5×12トラス  
タッピンネジ3種

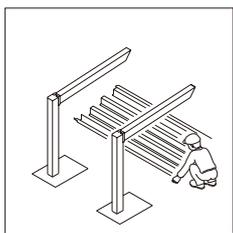
### 補足

この段階では、柱キャップ・  
柱梁カバーは多少ガタツキます。



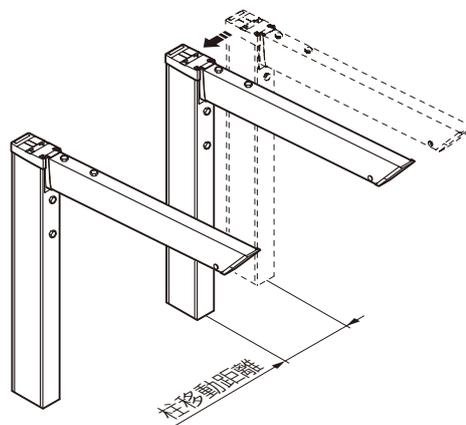
## 4 部材の加工

### □ 柱移動の場合 (移動した柱、梁へ取付ける部材の加工)

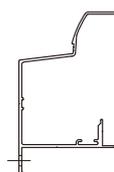
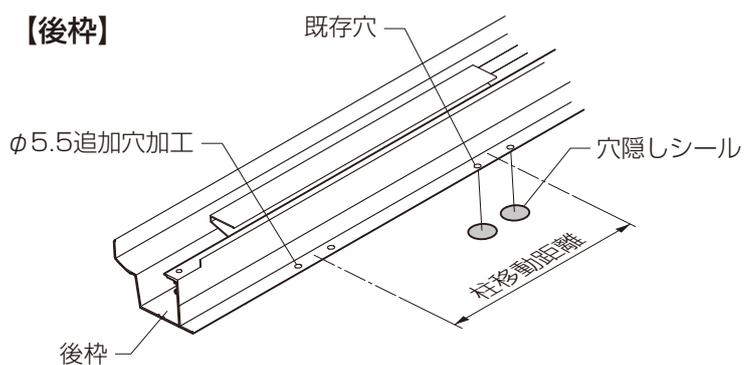


【柱移動】の場合の作業です。

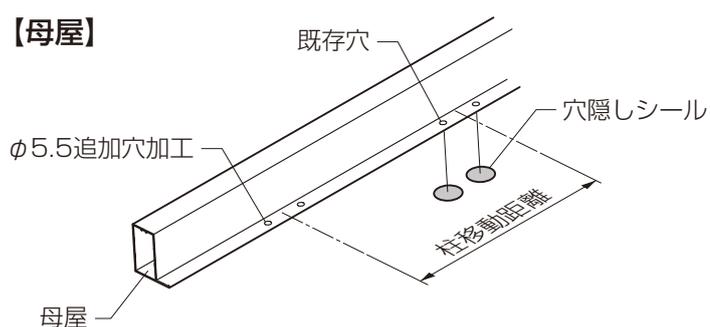
- ①部材に穴加工を行なってください。
- ②既存穴に穴隠しシールを貼ってください。



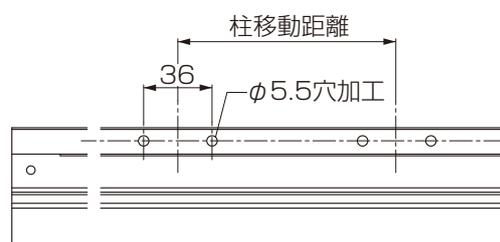
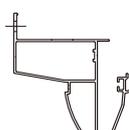
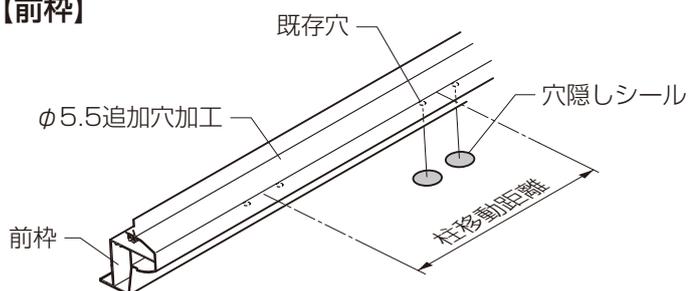
#### 【後枠】



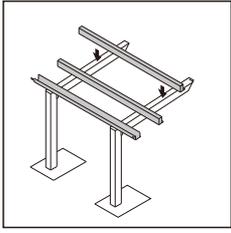
#### 【母屋】



#### 【前枠】



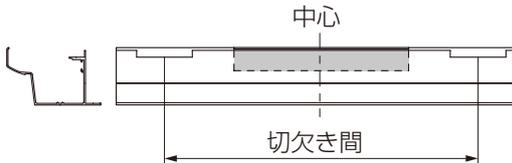
## 5 母屋・後枠の取付け



- ①後枠をブラケットに【7-3】で取付けてください。
- ②パネル緩衝材を母屋に貼付けてください。
- ③母屋を梁に【7-3】で取付けてください。

### お願い

パネル受けを下図の位置に移動させてください。

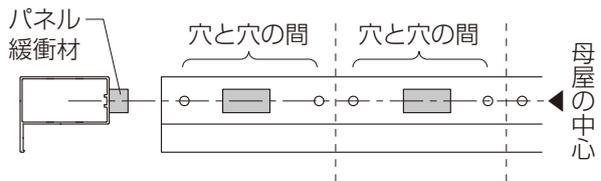


【7-3】φ5×12トラス  
タッピンネジ3種

パネル受け  
後枠

### お願い

パネル緩衝材は下図の位置に貼付けてください。



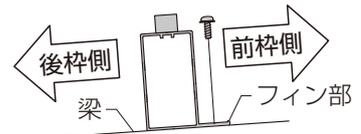
【7-3】φ5×12トラス  
タッピンネジ3種

パネル緩衝材

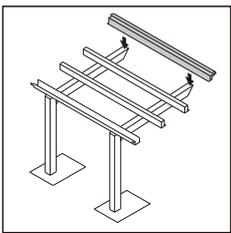
母屋

### お願い

母屋のフィンは、前枠側に向けてください。



## 6 前枠の取付け



- ①前枠を梁に【7-3】で取付けてください。



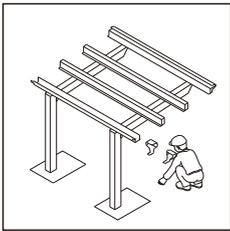
【7-3】φ5×12トラス  
タッピンネジ3種

前枠

梁

## 7 側枠の取付け

### 1 キャップ加工

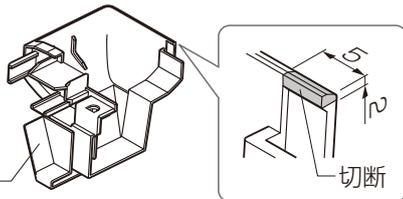


[M合掌]  
[Y合掌] の場合の作業です。

①コーナーキャップを加工してください。



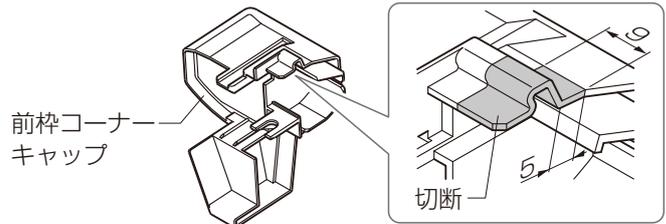
[Y合掌] の場合



後枠コーナー  
キャップ

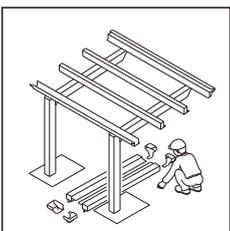


[M合掌] の場合

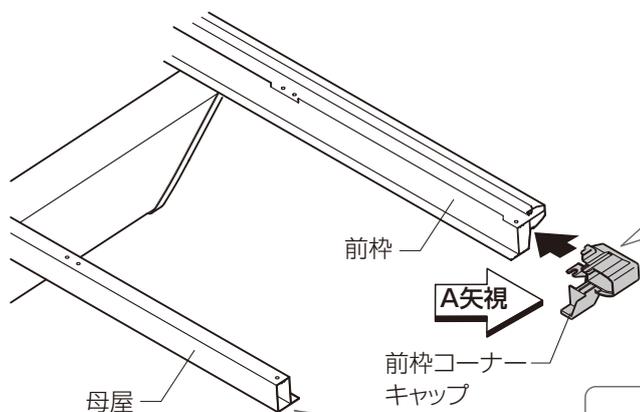


前枠コーナー  
キャップ

### 2 キャップの取付け



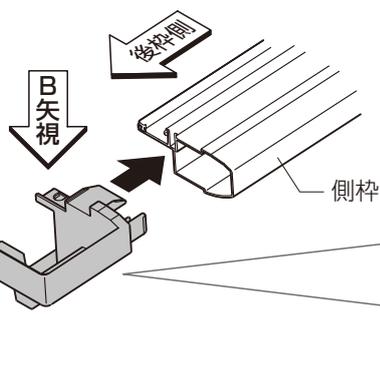
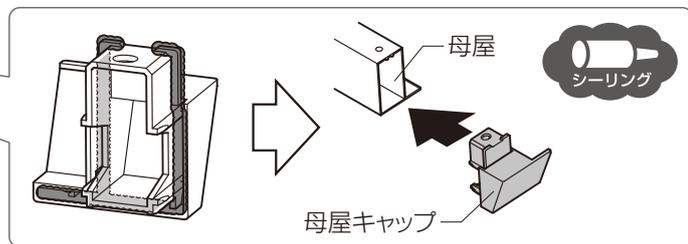
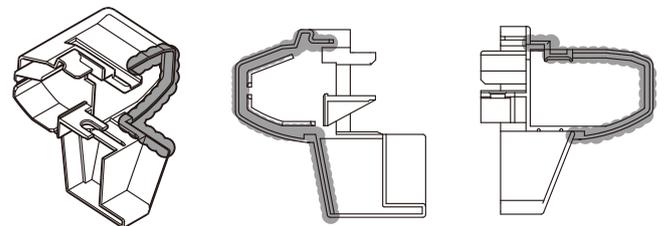
- ①前枠コーナーキャップ、後枠コーナーキャップにシーリングしてください。
- ②前枠コーナーキャップを前枠にはめ込んでください。
- ③後枠コーナーキャップを側枠にはめ込んでください。
- ④母屋キャップにシーリングしてください。
- ⑤母屋キャップを母屋に取付けてください。



A矢視図

前枠挿入面

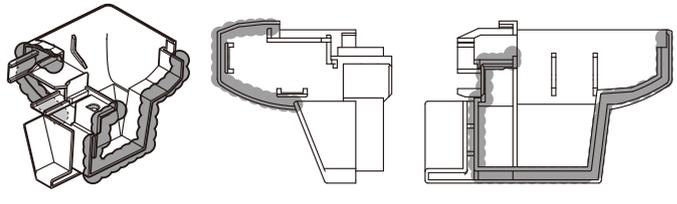
側枠挿入面



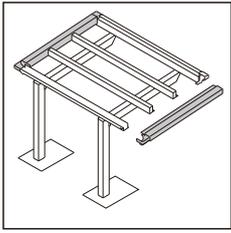
B矢視図

前枠挿入面

側枠挿入面

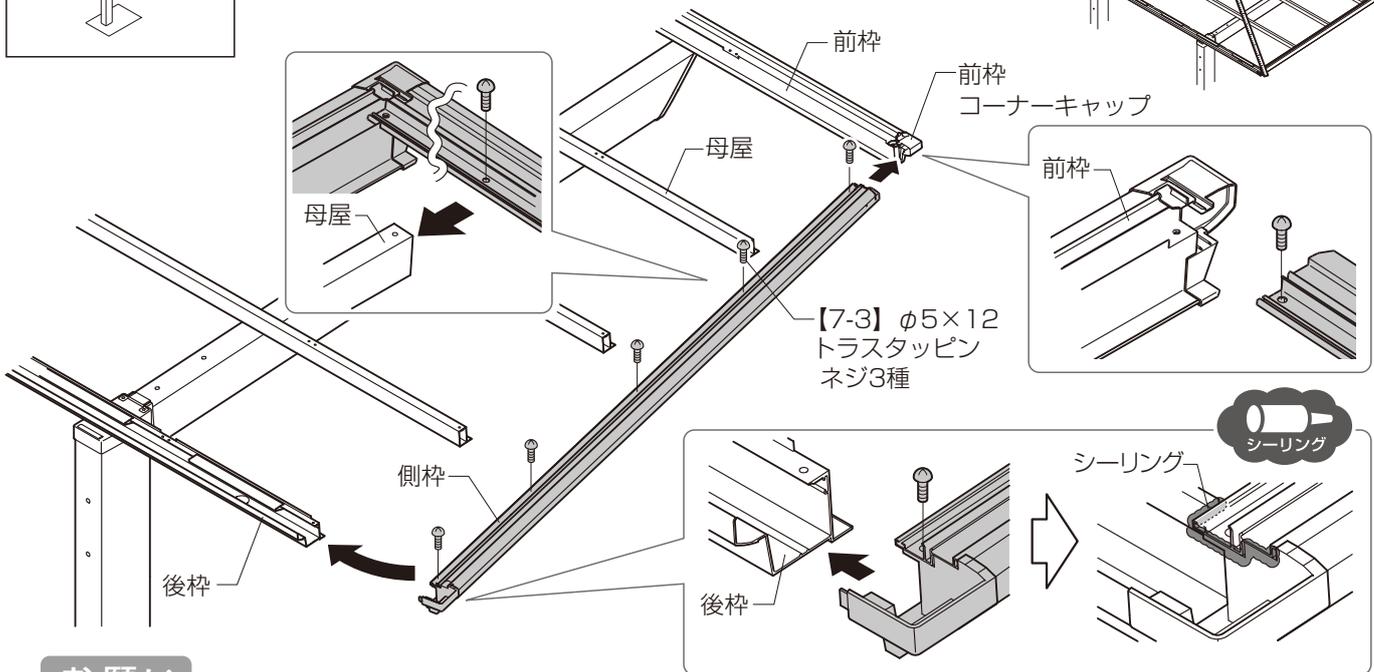
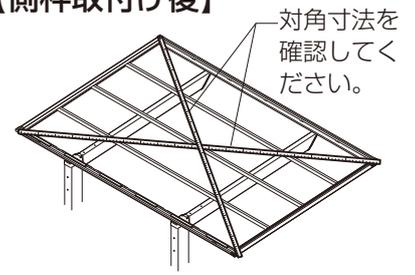


### 3 側枠の取付け



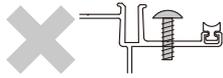
- ①側枠を前枠コーナーキャップに【7-3】で仮止めしてください。
- ②側枠を後枠に差込み【7-3】で取付けてください。
- ③側枠を母屋、後枠に【7-3】で取付けてください。
- ④後枠端部の切欠き部と側枠の接合部にシーリングをしてください。
- ⑤屋根枠まわりの対角寸法をそろえてください。

#### 【側枠取付け後】

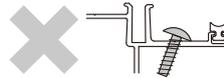


#### お願い

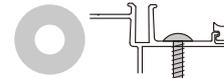
ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



ネジの浮き

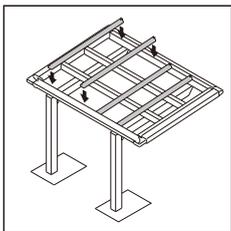


ネジの傾き



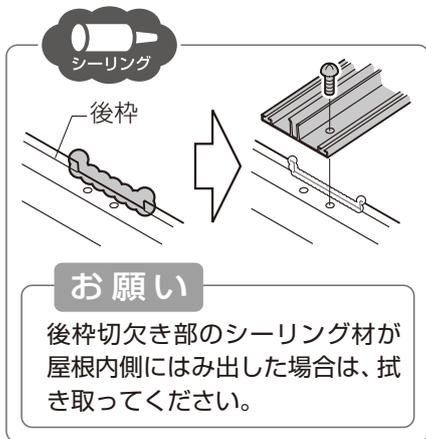
ネジの浮き・傾きなし

### 8 垂木の取付け



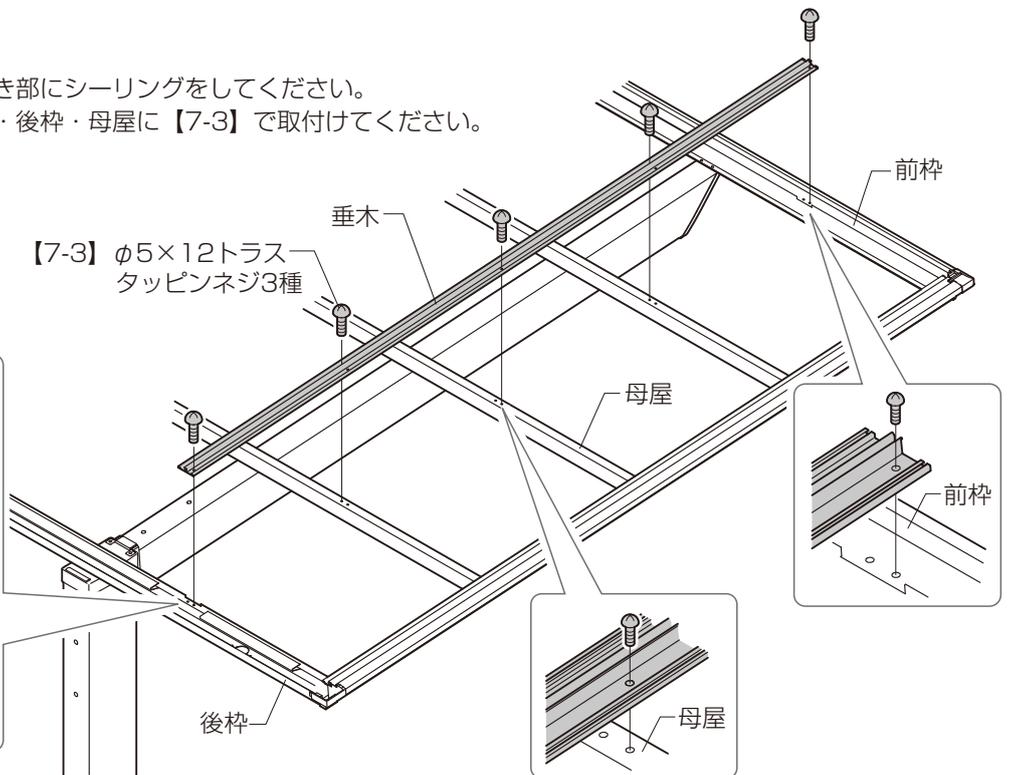
- ①後枠の切欠き部にシーリングをしてください。
- ②垂木を前枠・後枠・母屋に【7-3】で取付けてください。

【7-3】φ5×12トラスタッピンネジ3種



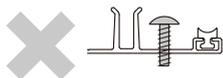
#### お願い

後枠切欠き部のシーリング材が屋根内側にはみ出した場合は、拭き取ってください。



#### お願い

ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



ネジの浮き

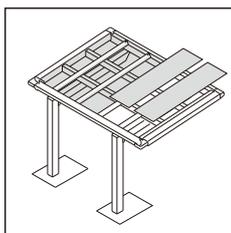


ネジの傾き



ネジの浮き・傾きなし

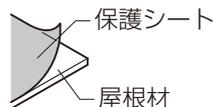
## 9 屋根材の取付け



①屋根材を前枠のカバー部に差込み、後枠の屋根材受けに差込んでください。

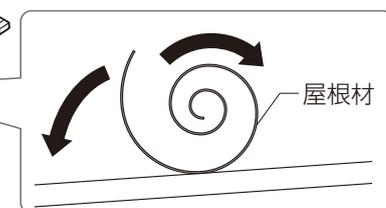
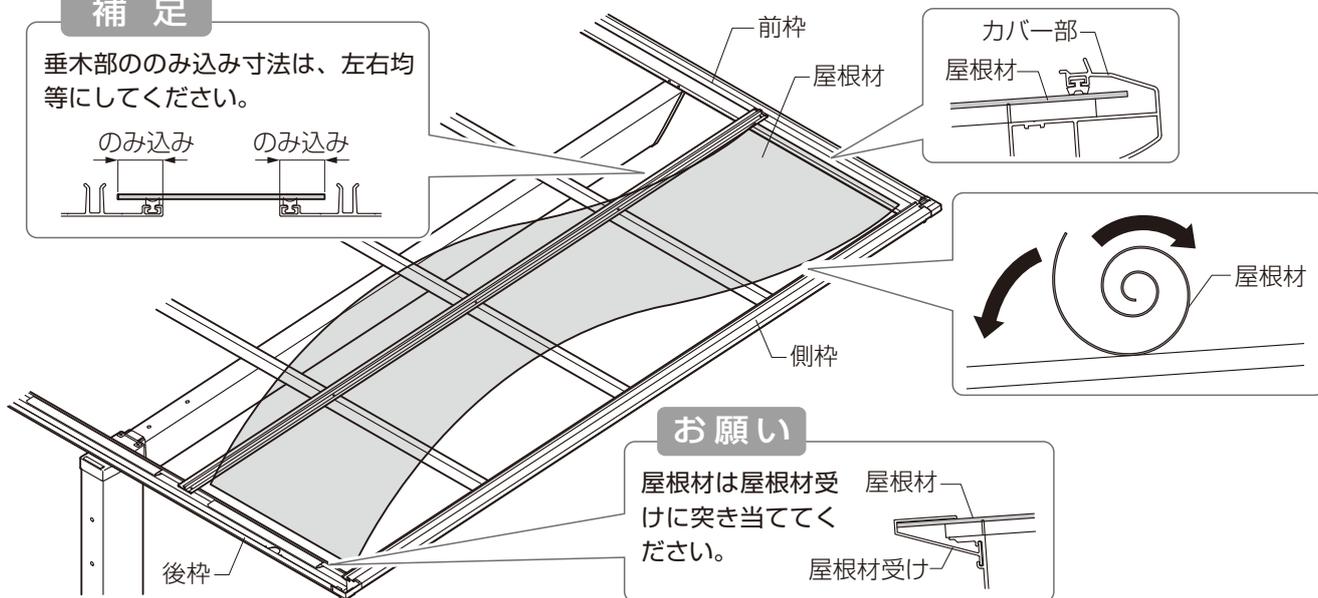
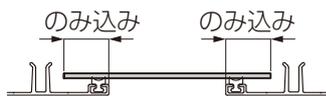
### お願い

屋根材は必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。



### 補足

垂木部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。

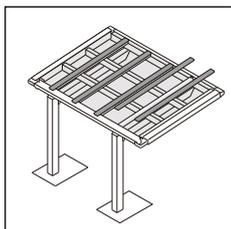


### お願い

屋根材は屋根材受けに突き当ててください。



## 10 側枠カバー・垂木カバーの取付け



- 垂木カバー・側枠カバーを垂木・側枠に【7-3】で取付けてください。
- 垂木カバー・側枠カバーにシーリングをしてください。

### お願い

ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



### お願い

#### 【取付けた後は】

垂木と垂木カバーがかみ合っていることを確認してください。

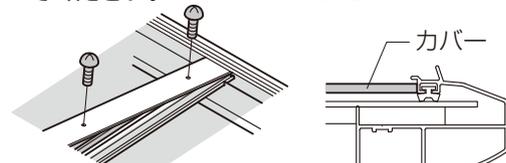


### お願い

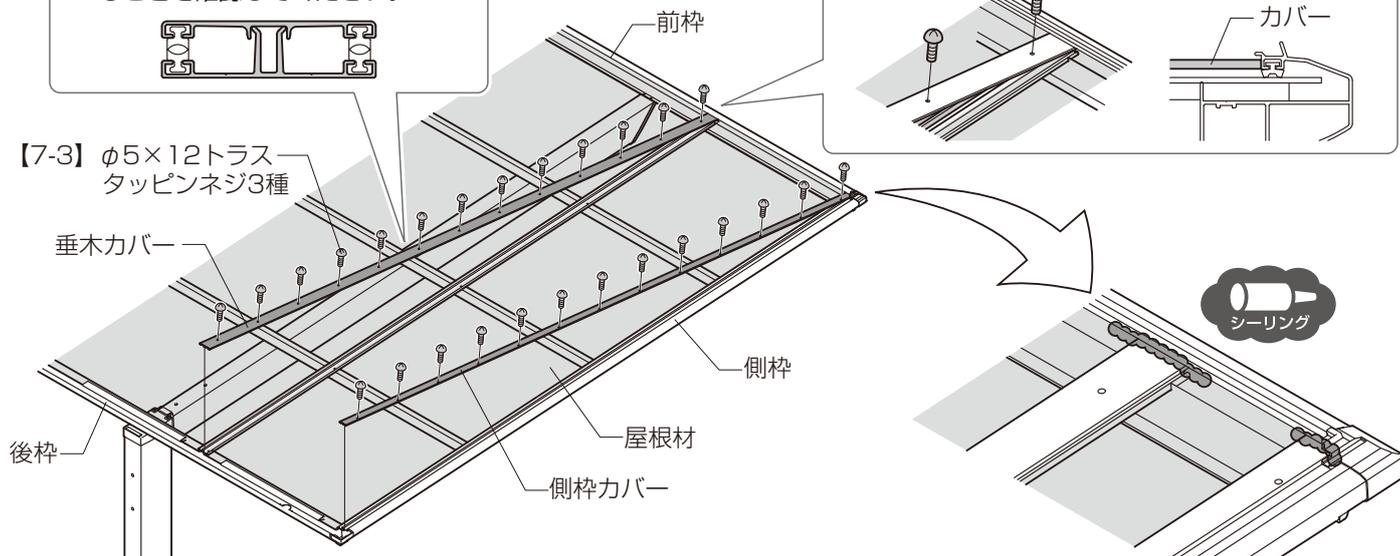
#### 【取付ける際は】

・前枠側から取付けてください。

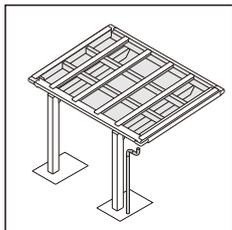
・前枠に突き当てて取付けてください。



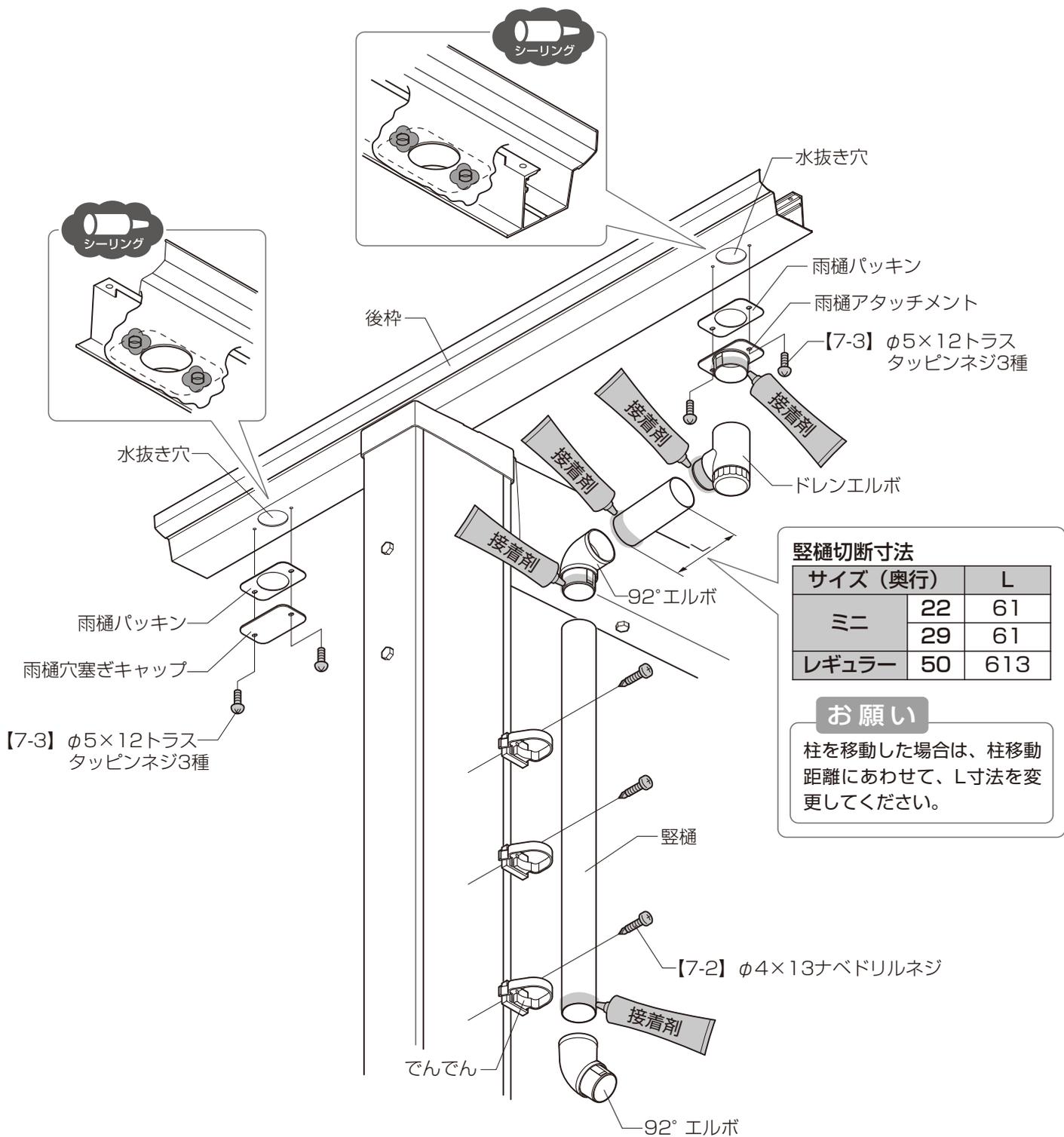
【7-3】φ5×12トラス  
タッピンネジ3種



## II 縦樋の取付け



- ① 縦樋を切断してください。
- ② 後枠片方の水抜き穴に「雨樋パッキン」「雨樋アタッチメント」を【7-3】で取付けてください。
- ③ 柱に「でんでん」を【7-2】で取付けてください。
- ④ 「ドレンエルボ」「縦樋」「92° エルボ」を接着剤で取付けてください。
- ⑤ 逆側の水抜き穴に「雨樋パッキン」「雨樋穴塞ぎキャップ」を【7-3】で取付けてください。
- ⑥ 後枠内のネジ部にシーリングをしてください。



# 縦連棟の施工方法



【縦連棟】または【14延長】  
の場合の作業です。

## 縦連棟 (L22・L29) の確認事項



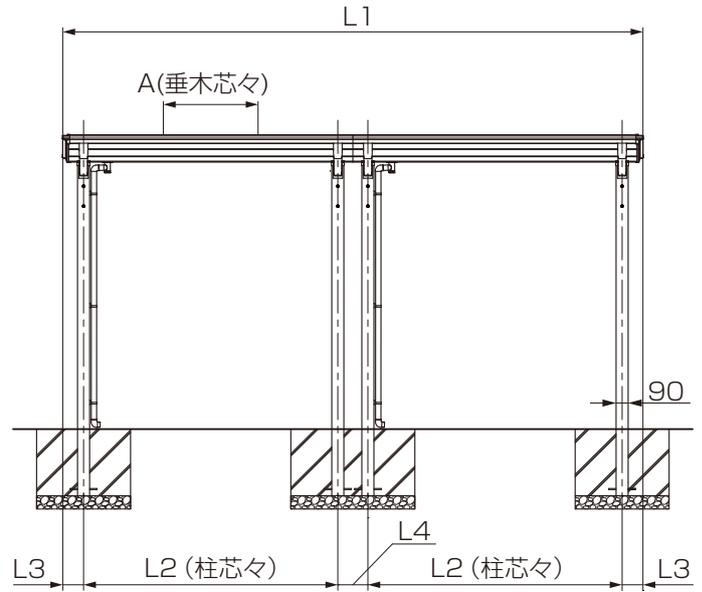
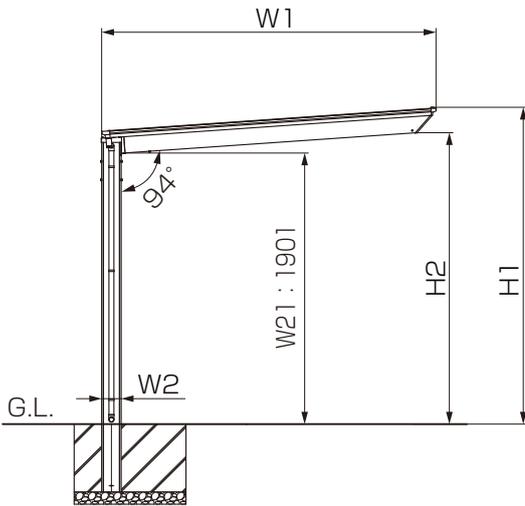
【縦連棟】の場合  
の作業です。

姿図

### 補 足

#### 【ロング柱の場合】

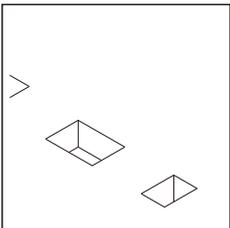
W21 = H寸法に+608してください。



サイズ(間口)		W1	W2	H1	H2
ミニ	W21	2096	132	2210	2032

サイズ(奥行)		L1	L2	L3	L4	A
ミニ	L22	4322	1894	155	224	706
	L29	5734	2600	155	224	706

## 基礎の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



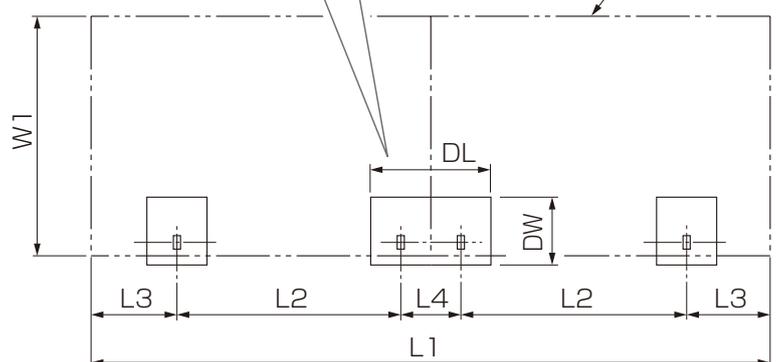
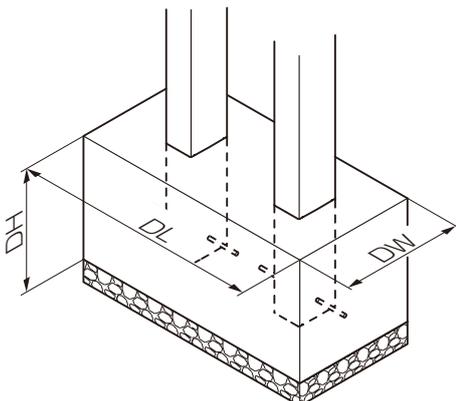
【連結部以外の基礎寸法数値について】

連結部以外の基礎寸法「DW」「DL」「DH」は「P.8」を参照してください。

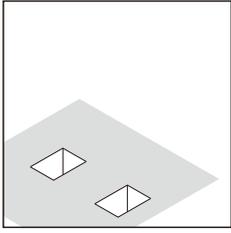
### お願い

連結部の基礎寸法は次ページを参照してください。

カーポート  
本体外線



## □ 基礎寸法の確認（連棟部）



①基礎穴寸法を確認してください。



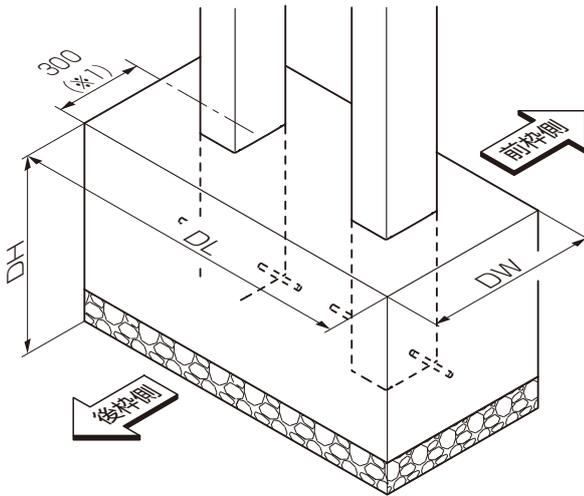
【連結部以外の基礎寸法数値について】

連結部以外の基礎寸法「DW」「DL」「DH」は「P.8」を参照してください。

サイズ(間口)	独立基礎寸法			土間コンクリート寸法		
	DW	DL	DH	DW	DL	DH
W21	600	800	500	400	600	500



【独立基礎仕上げ】の場合の作業です。

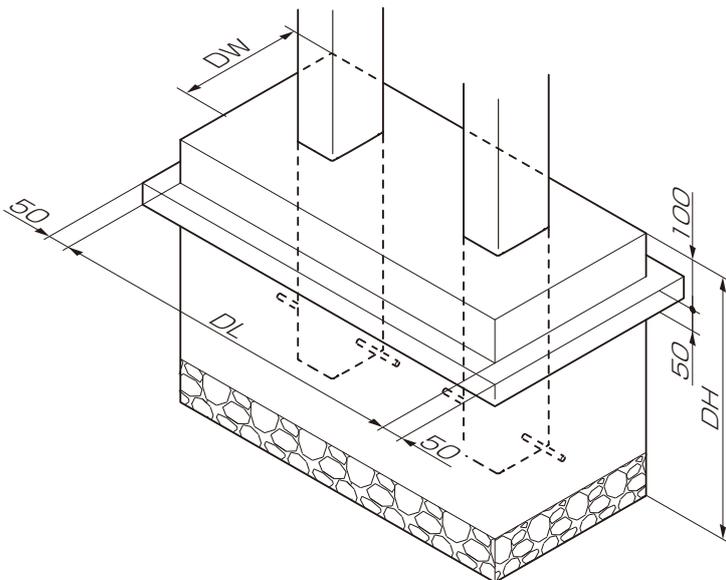


### 補 足

(※1) は柱芯から柱背面側の基礎端面までの寸法です。

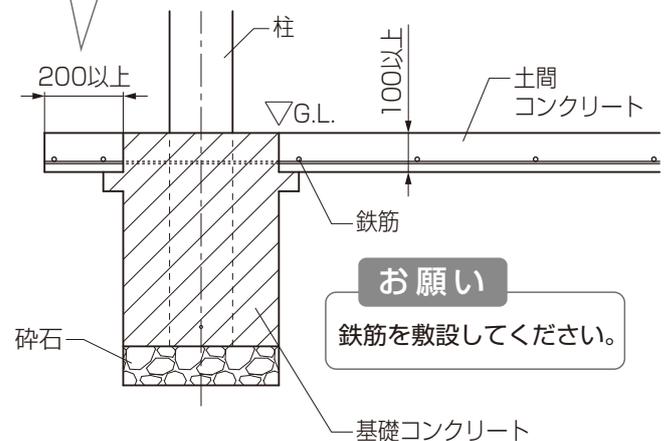


【土間コンクリート仕上げ基礎】の場合の作業です。



### お 願 い

基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。



### お 願 い

鉄筋を敷設してください。

# 縦連棟 (L50) の確認事項



【縦連棟】の場合の作業です。

## 姿図

### 注意



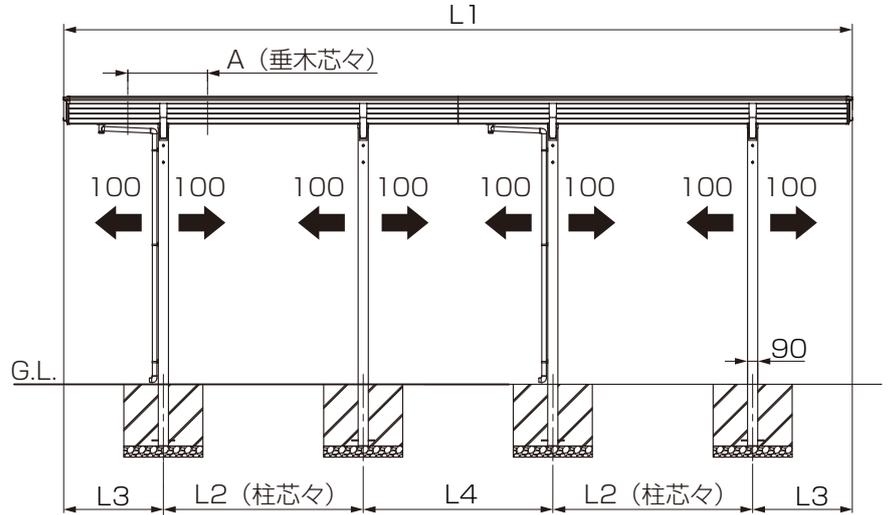
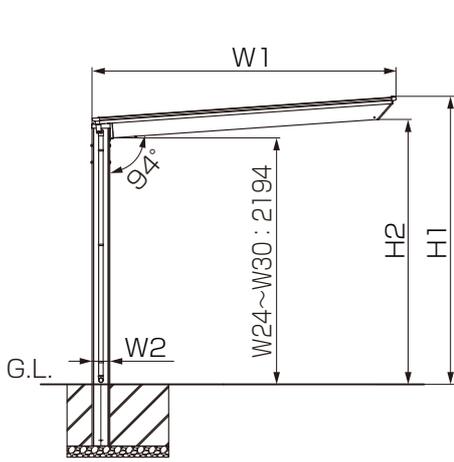
【柱移動】をした場合は柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

### 補足

←印は【柱移動】範囲を示します。

【ロング柱の場合】

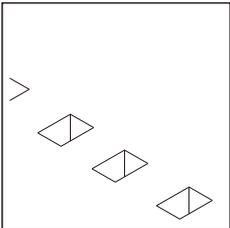
W24~W30=H寸法に+300してください。



サイズ(間口)		W1	W2	H1	H2
レギュラー	W24	2393	158	2549	2343
	W27	2692	158	2570	2364
	W30	2992	160	2591	2385

サイズ(奥行)		L1	L2	L3	L4	A
レギュラー	L50	9970	2900	1064	2042	706

## 基礎の墨出し

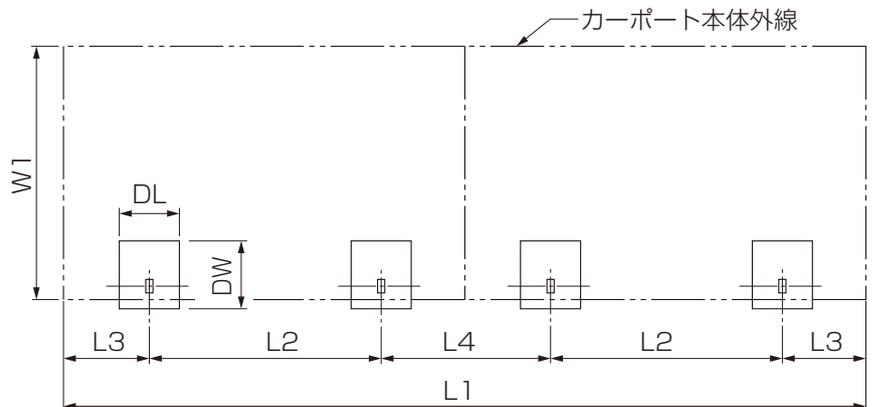
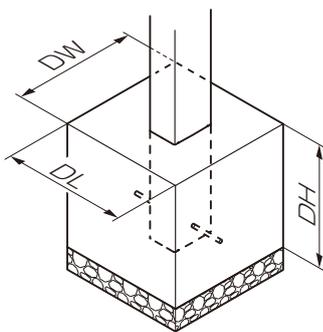


①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



【基礎寸法数値について】

基礎寸法「DW」「DL」「DH」は『P.8』を参照してください。



# 14延長の確認事項



【14延長】の場合の作業です。

## 姿図

### 注意



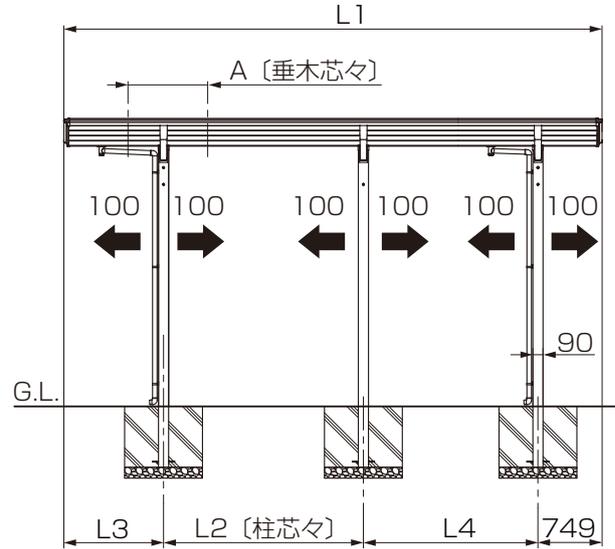
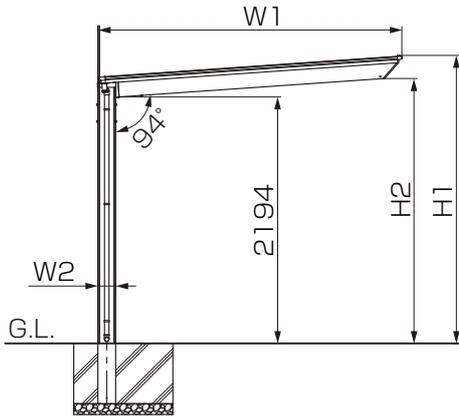
【柱移動】をした場合は柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

### 補足

印は【柱移動】範囲を示します。

【ロング柱の場合】

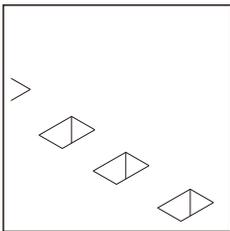
W24~W30=H寸法に+300してください。



サイズ(間口)		W1	W2	H1	H2
レギュラー	W24	2393	158	2549	2343
	W27	2692	158	2570	2364
	W30	2992	160	2591	2385

サイズ(奥行)		L1	L2	L3	L4	A
レギュラー	L50	6440	2900	1064	1727	706

## 基礎の墨出し

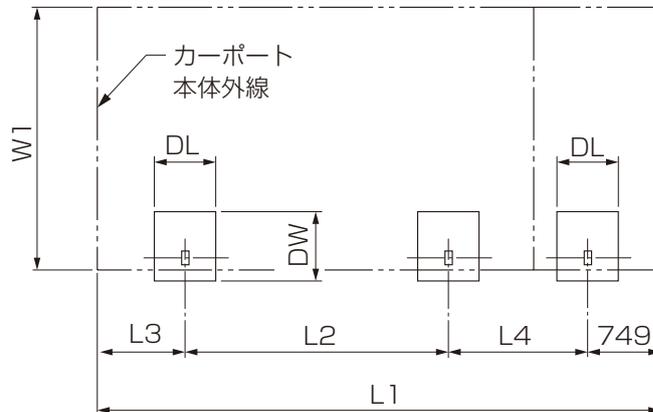
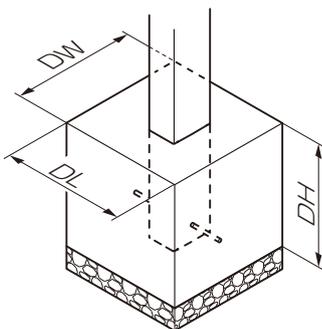


①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



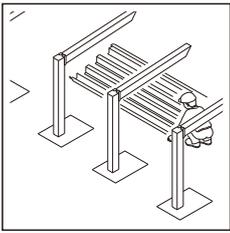
【基礎寸法数値について】

基礎寸法「DW」「DL」「DH」は「P.8」を参照してください。



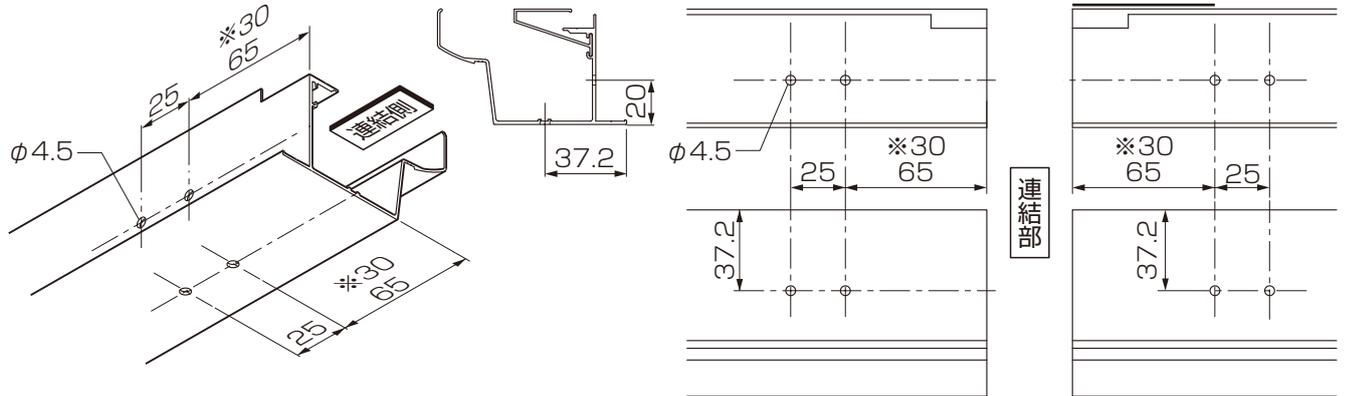
# 1 部材の加工

## □ 連結部（連結スリーブ取付用の穴加工）

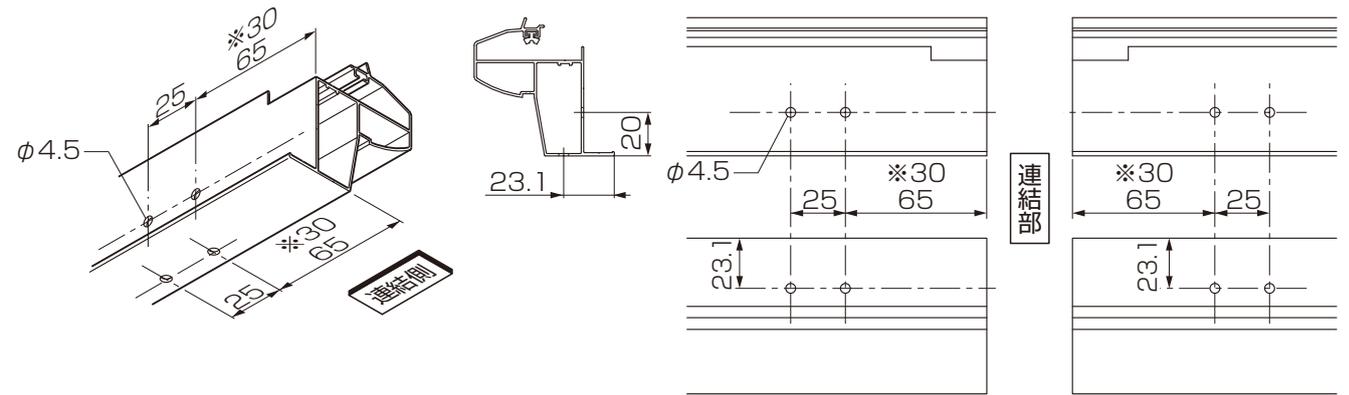


①後枠・前枠・母屋・母屋スリーブの連結側を穴加工してください。  
 ※印寸法は縦連棟（L22・L29）の場合のみです。

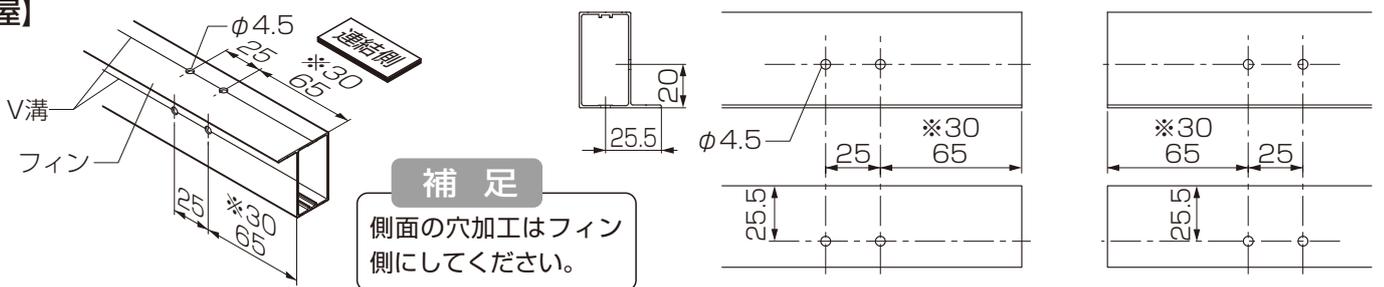
### 【後枠】



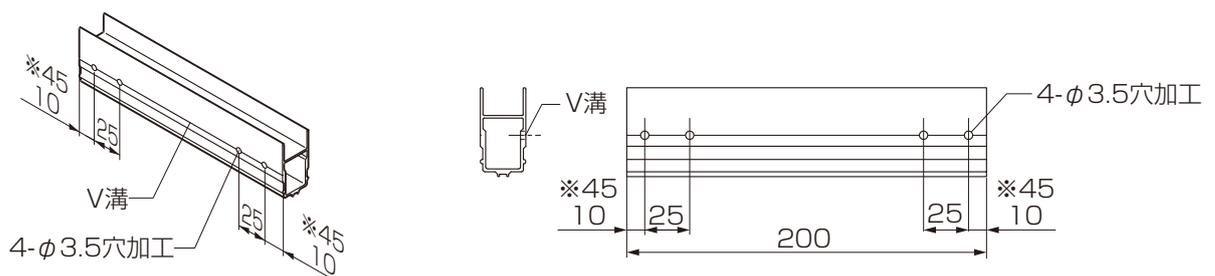
### 【前枠】



### 【母屋】

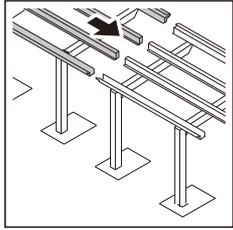


### 【母屋スリーブ】

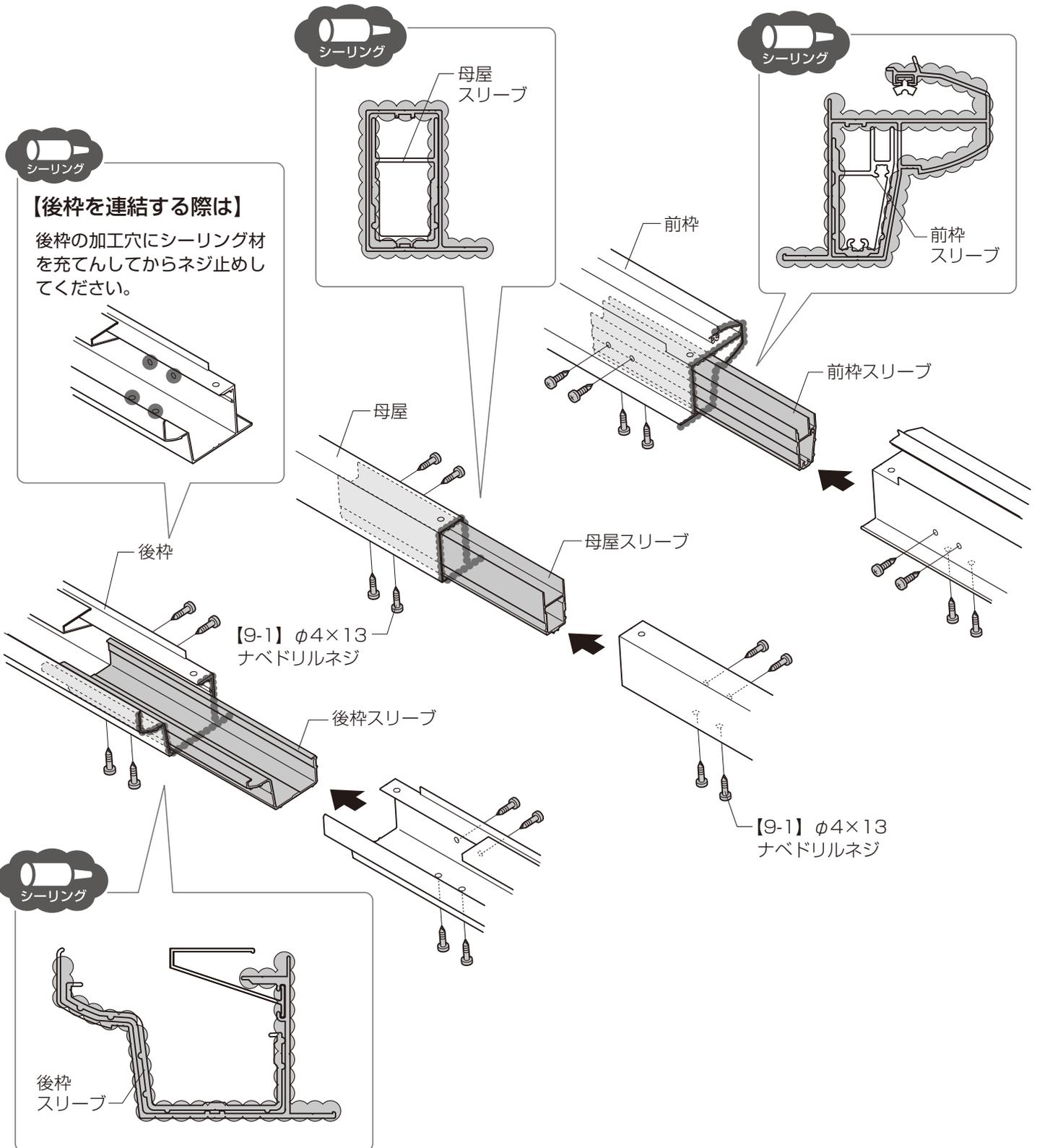


## 2 部材の取付け

### □ 連結部の取付け



- ① 連結する前枠・母屋・後枠の片側にスリーブを挿入し、【9-1】で取付けてください。
- ② 連結部にシーリングをしてください。
- ③ もう片側の前枠・母屋・後枠をスリーブに挿入し、【9-1】で取付けてください。
- ④ はみ出たシーリング材を処理してください。



# M合掌タイプの施工



【M合掌】の場合の作業です。

## 姿図

### ⚠ 注意



【柱移動】をした場合は  
柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

### 補 足

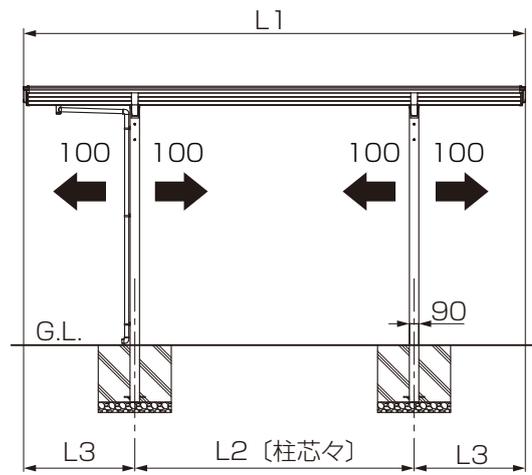
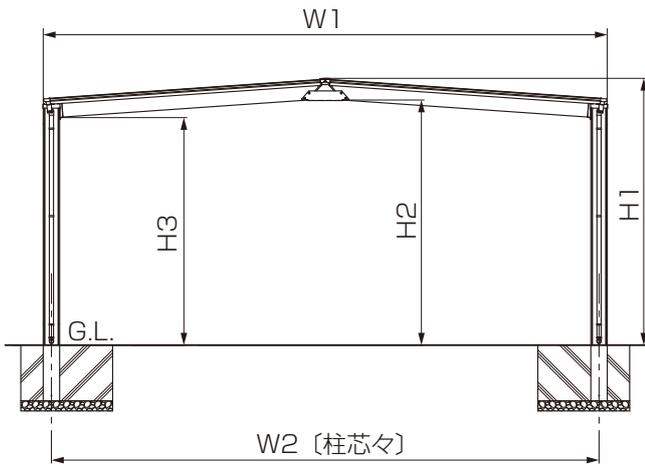
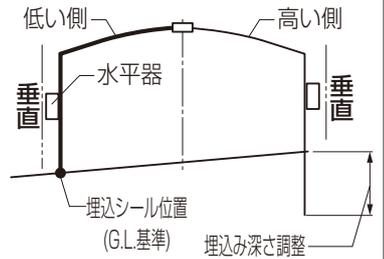
← 印は【柱移動】範囲を示します。

#### 【ロング柱の場合】

W24~W30=H寸法に+300してください。

### お願い

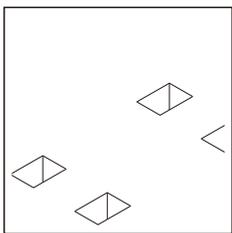
傾斜地で施工する場合、低い側の本体高さを基準とし、高い側の本体の埋め込み深さを調整して、本体高さを合わせ、柱が垂直になるように施工してください。合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。



サイズ(奥行)	W1	W2	H1	H2	H3	
レギュラー	W24-24	4801	4643	2552	2343	2194
	W27-27	5399	5241	2573	2364	2194
	W30-30	5999	5839	2594	2385	2194

サイズ(奥行)	L1	L2	L3
レギュラー L50	5028	2900	1064

## 基礎位置の墨出し



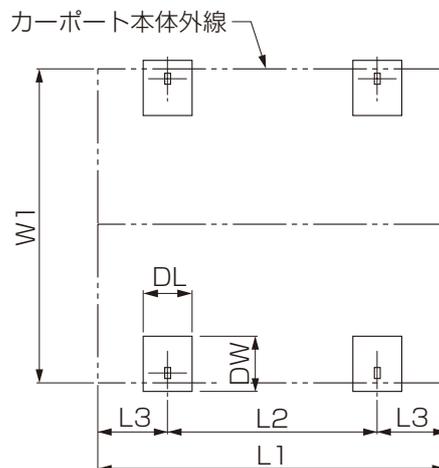
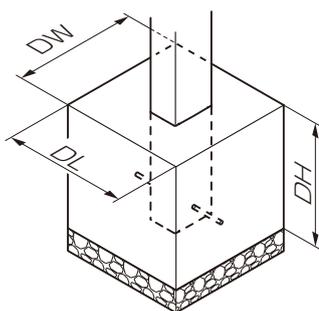
①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



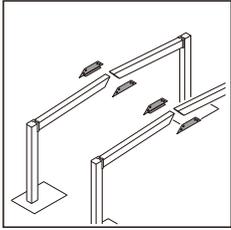
P.8

【基礎寸法数値について】

基礎寸法「DW」「DL」「DH」は「P.8」を参照してください。



# 1 M合掌梁連結金具の組立て



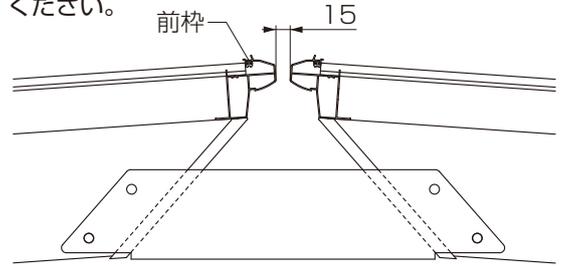
- ① 梁のプッシュボタンを外してください。
- ② 梁にM合掌梁連結金具を当てがい穴位置をケガキ、 $\phi 9$ の貫通穴をあけてください。
- ③ 梁と梁をM合掌梁連結金具で取付けてください。

## 補足

【合掌部以外の取付けは】  
「基本タイプの施工方法」を参照してください。

## お願い

前枠と前枠の間隔が15mmであることを確認してください。



## お願い

ボルトを締め付ける際は梁が変形しないように締め込みすぎないようにしてください。

【11-1】 M8×85  
六角ボルト

【11-3】 M8平座金

M合掌金具スペーサー

梁スペーサー

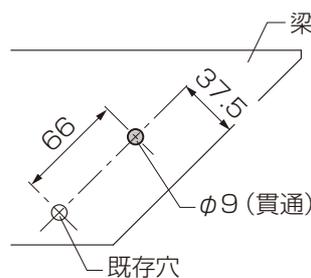
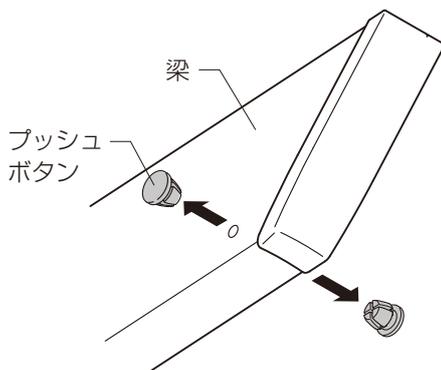
$\phi 9$   
貫通穴加工

梁

M合掌梁連結金具

【11-2】 M8用六角セルフロックナット

【11-3】 M8平座金



## 補足

柱・梁を組立て、金具を当てて写し穴で位置出しします。

## 2 合掌棟木の取付け

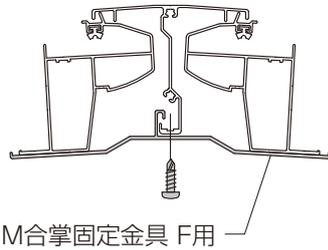
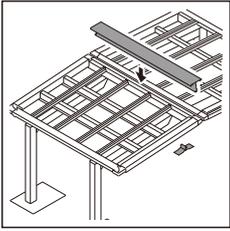
P.13

「基本タイプの施工方法 7 側枠の取付け」  
 「1 キャップの加工 (P.13)」を必ず行なっ  
 てください。

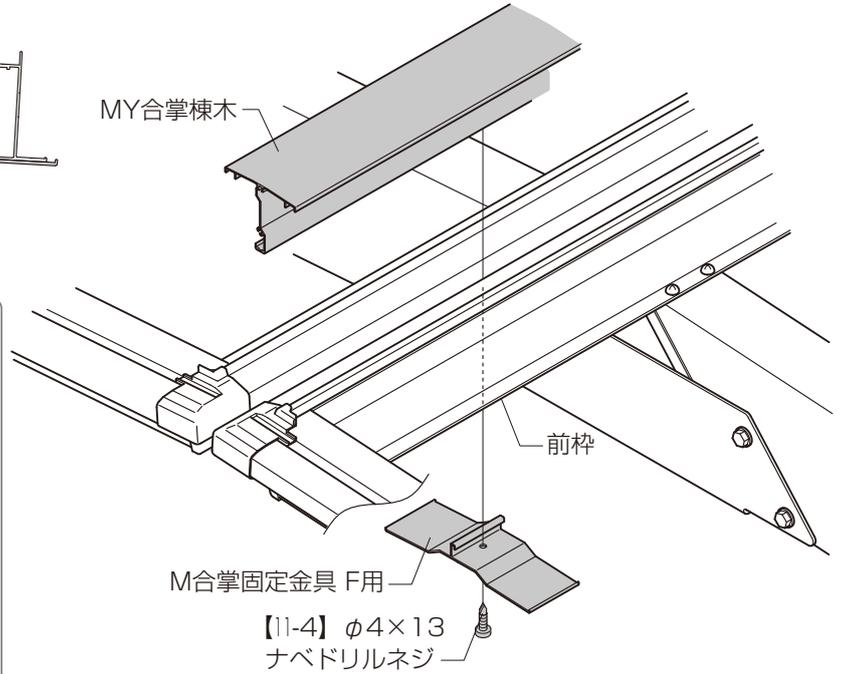
### 補 足

「基本タイプの施工方法 8 垂木の取付け」の後に本手順を行なってください。

①MY合掌棟木を前枠と前枠の間に乗せて、M合掌固定金具 F用と【11-4】で固定してください。

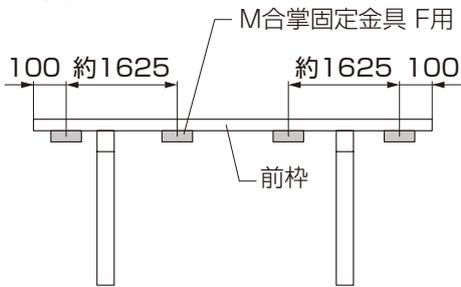


M合掌固定金具 F用

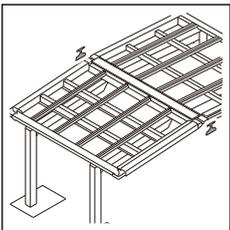


### お 願 い

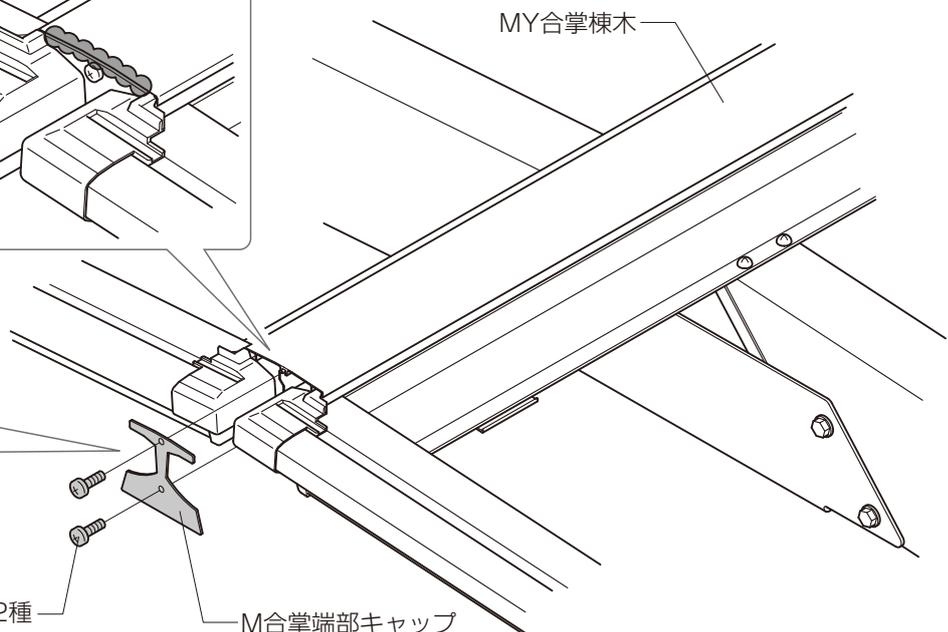
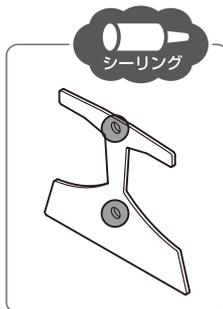
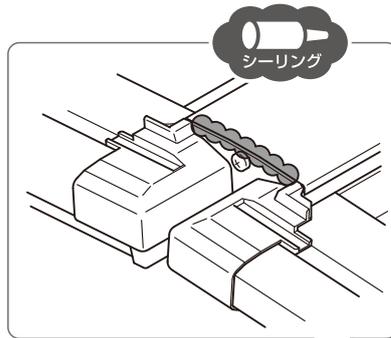
M合掌固定金具 F用は図の位置に取付けてください。  
 固定金具取付け位置に梁がある場合は、ずらして取  
 付けてください。



## 3 M合掌端部キャップの取付け



- ①M合掌端部キャップをMY合掌棟木に【11-5】で取付けてください。
- ②M合掌端部キャップ及びMY合掌棟木にシーリングしてください。



【11-5】φ4×20トラスタッピンネジ2種

M合掌端部キャップ

# Y合掌タイプの施工



【Y合掌】の場合の作業です。

## 姿図

### 注意



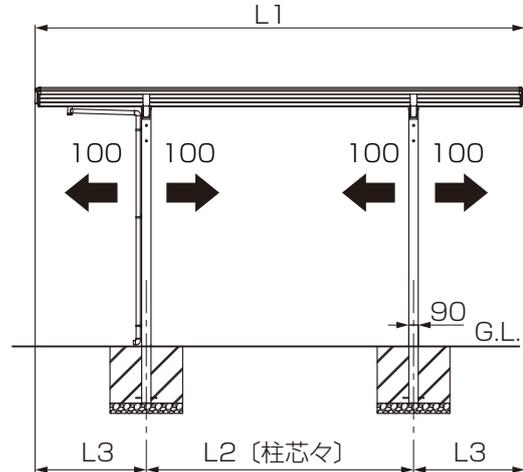
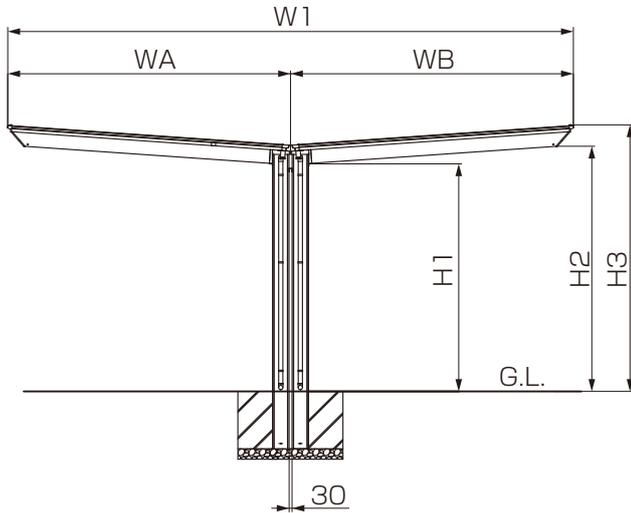
【柱移動】をした場合は柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

### 補足

← 印は【柱移動】範囲を示します。

#### 【ロング柱の場合】

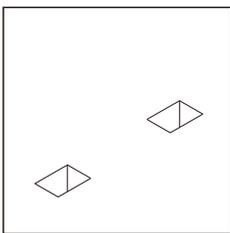
W24~W30=H寸法に+300してください。



サイズ(奥行)	W1	WA	WB	H1	H2	H3	
レギュラー	W24-24	4816	2408	2408	2194	2343	2549
	W27-27	5412	2706	2706	2194	2364	2570
	W30-30	6012	3006	3006	2194	2385	2591

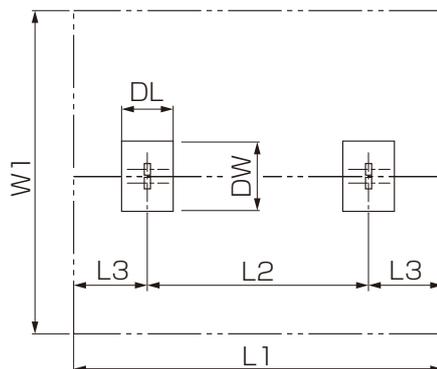
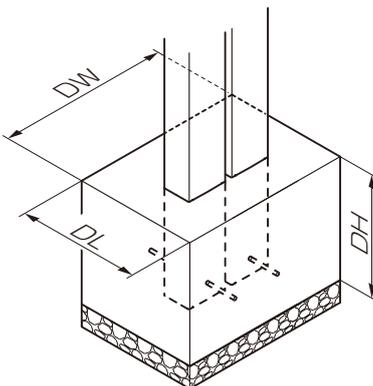
サイズ(奥行)	L1	L2	L3	
レギュラー	L50	5028	2900	1064

## 基礎位置の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

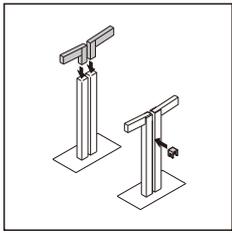
サイズ(間口)	独立基礎寸法			土間コンクリート寸法		
	DW	DL	DH	DW	DL	DH
W24-W24	800	600	550	600	300	550
W27-W27	800	600	550	600	300	550
W30-W30	900	700	550	600	300	550



### 補足

DW、DL中心位置が柱芯となります。

# 1 Y合掌用柱連結金具の取付け



- ① ブラケットを柱に差込み【7-1】で固定してください。
- ② 合掌面側の【7-1】を軽く固定してください。
- ③ Y合掌用柱連結金具を【7-1】のすき間に差込み、本固定してください。

## 補足

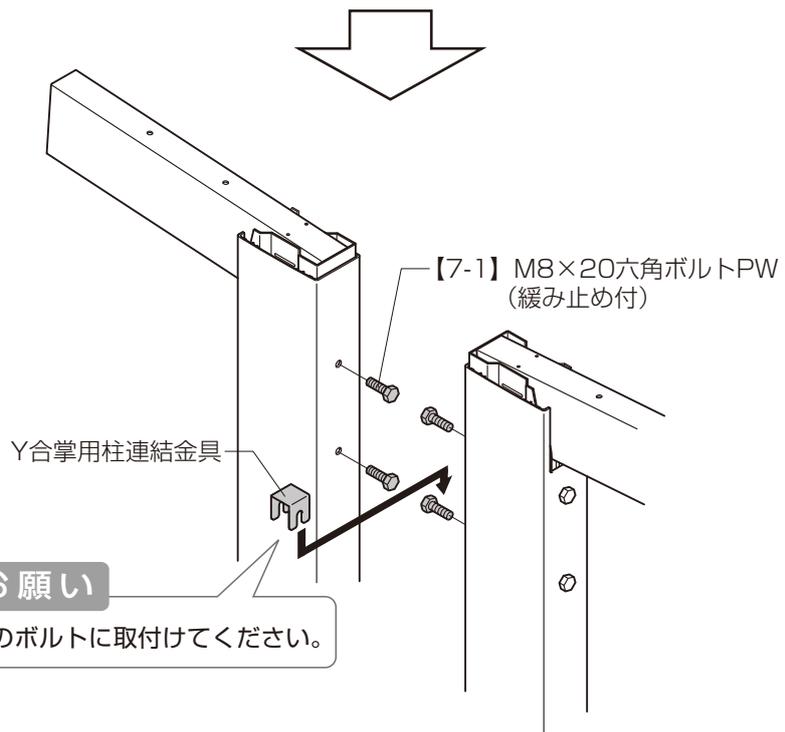
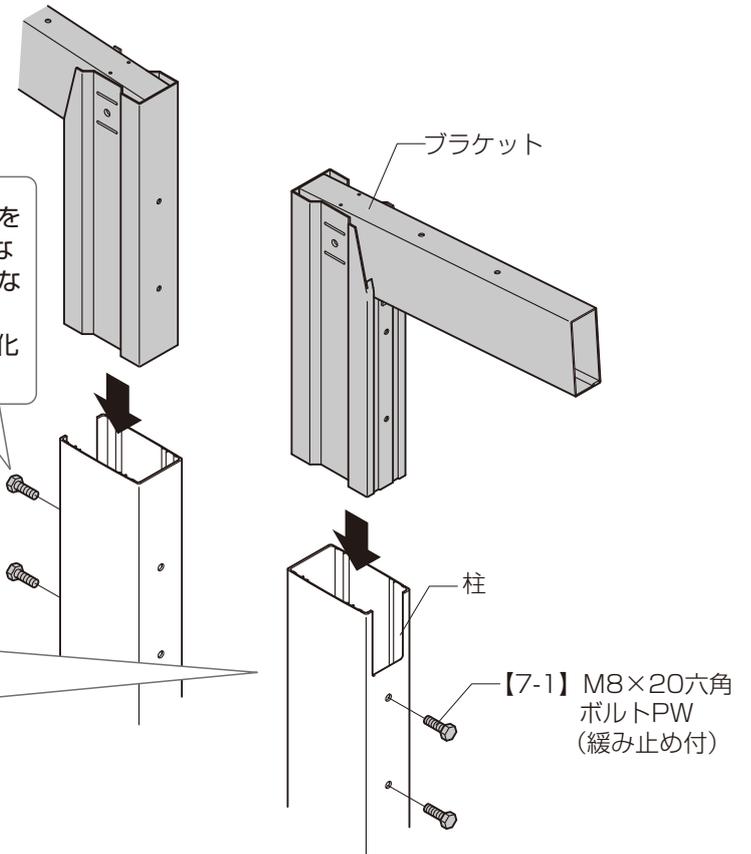
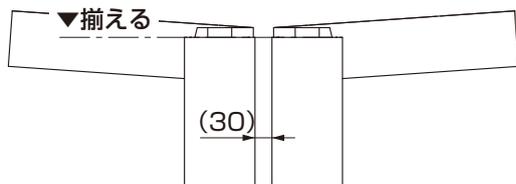
【合掌部以外の取付けは】  
「基本タイプの施工方法」を参照してください。

## お願い

緩み止め剤硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやよくなる場合があります。  
(締付け後、約24時間で硬化します。)

## お願い

- ・ 柱と柱のすき間は約30mmにしてください。
- ・ 柱の上面は同一高さにしてください。



## お願い

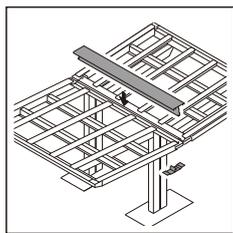
下側のボルトに取付けてください。

## 2 合掌棟木の取付け

P.13



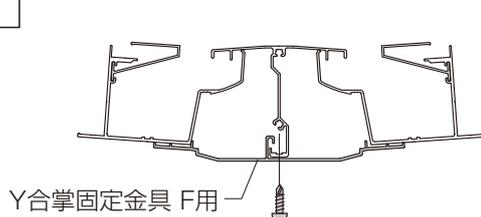
「基本タイプの施工方法 7 側枠の取付け  
1 キャップの加工 (P.13)」を必ず行なっ  
てください。



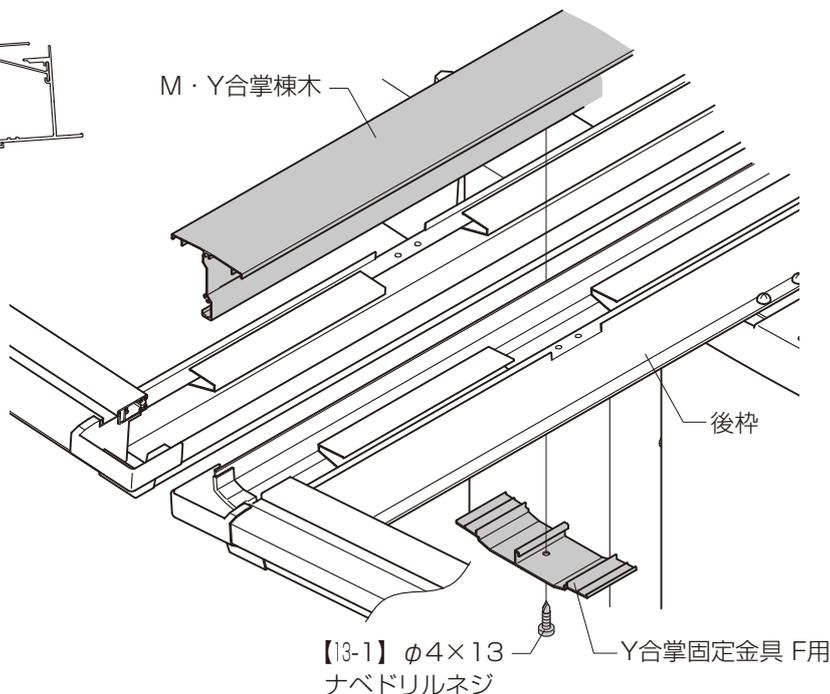
### 補 足

「基本タイプの施工方法 8 垂木の取付け」の後に本手順を行なってください。

① M・Y合掌棟木を後枠と後枠の間に乗せて、Y合掌固定金具 F用と【13-1】で固定してください。



Y合掌固定金具 F用



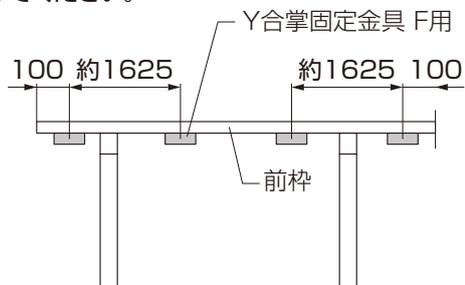
M・Y合掌棟木

後枠

【13-1】φ4×13  
ナベドリルネジ

### お 願 い

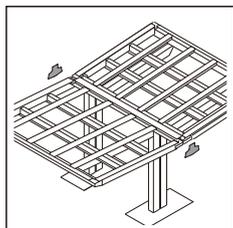
Y合掌固定金具 F用は図の位置に取付けてください。  
固定金具取付け位置に梁がある場合は、ずらして取  
付けてください。



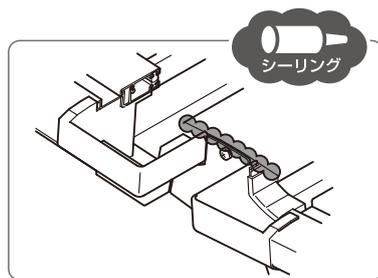
Y合掌固定金具 F用

前枠

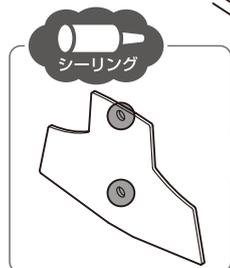
## 3 Y合掌端部キャップの取付け



- ① Y合掌端部キャップをMY合掌棟木に【13-2】で取付けてください。
- ② Y合掌端部キャップ及びMY合掌棟木にシーリングしてください。



シーリング



シーリング

【13-2】φ4×20  
ナベタッピンネジ 2種

Y合掌端部キャップ

MY合掌棟木

取説コード

D652

JZZ634929  
201806A\_1039